

2024年度 日本学生支援機構奨学金 出願説明会

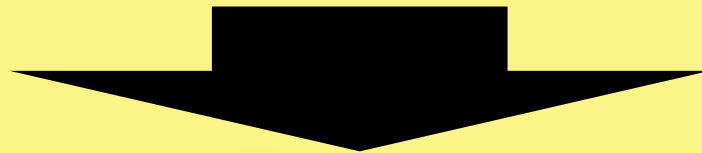


皆さんに覚えておいてほしいこと



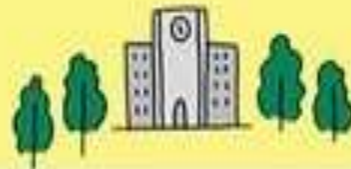
日本学生支援機構

Japan Student Services Organization



JASSO

(じゃっそ)



スライドの右上に記載されたマークの見かた

貸与
(借りる)

・・・貸与のみ申込み人に関係すること

給付
(支給される)

・・・給付のみ申込み人に関係すること

給付と貸与両方

・・・貸与と給付両方申込み人に関係すること

全員

・・・全員に関係すること

配布書類の確認①

申込者全員に関係する書類



① 出願チェックリスト



② 申込学力基準について



③ 学修計画書



④ 手続きを忘れないために

給付申込みの人だけ書く



⑤ 振込依頼書



⑥ 遡及取消に係る誓約書



⑦ マイナンバー提出書セット

給付奨学金案内 (もらう奨学金を申込み人)

給付奨学金案内

↓ ① スカラネット下書き用紙

↓ ② 給付奨学金確認書

スカラネット入力下書き用紙

給付奨学金確認書

スカラネット
下書き用紙
給付奨学金
確認書
在中

貸与奨学金案内 (借りる奨学金を申込み人)

貸与奨学金案内

↓ ① スカラネット下書き用紙

↓ ② 貸与確認書
兼 同意書

スカラネット
入力下書き用紙

確認書兼個人信用情報の
取扱いに関する同意書
在中

貸与確認書
兼 同意書

もらう・借りるの両方を申込み人は両方よく読む!

冊子の中に後で書き方を説明する

『①スカラネット入力下書き用紙』と『②確認書』が挟んであります。

奨学金は大きく分けて2種類があります。

<1.貸与奨学金>

借りる奨学金。卒業後に返還しないといけない。



<2.給付奨学金>

支給される奨学金。基本的に返還の必要がない。

あわせて、国から授業料等の減免も受けられる。



ただし、成績によっては
両方とも返還が必要!



申込には家計基準や成績が関係します。

『奨学金案内』で詳細を要確認!



給付奨学金の申込に必要な成績基準について

給付
(支給される)

	2年次生以上	1年次生
学力基準	<p><u>前年度末の学業成績が</u> <u>次のいずれかに該当する必要があります。</u></p> <p>① GPAが在学する学部等における 上位 1/2の範囲に属すること</p> <p>② 修得した単位数が標準単位数以上であり、 かつ将来、社会で自立し、活躍する目標を 持って学習する意欲を有していることが、 学修計画書により確認できること</p>	<p><u>次のいずれかに該当する必要があります。</u></p> <p>① 高等学校等における評定平均値が 3.5以上、又は入学者選抜試験の 成績が入学者の上位1/2の範囲に属する</p> <p>② 高等学校卒業程度認定試験の合格者</p> <p>③ 将来、社会で自立し、活躍する目標を 持って学習する意欲を有していることが、 学修計画書により確認できること</p>

その他の 注意点

- ① 留年に相当する間、または過去に学業成績による留年等により修業年限内に卒業できないことが確定している学生は、現在進級等により留年が解消されている場合であっても支給対象となりません。
- ② 大学等への入学時期などに係る基準や在留資格等に係る基準については、日本学生支援機構発行の「給付奨学金案内」でご確認ください。



貸与奨学金の申込に必要な成績基準について

**貸与
(借りる)**

		第一種奨学金					第二種奨学金					
学力基準	<p>● 2年次生以上 前年度までに以下の単位を修得し、学習成績が本人の属する学部(科)の上位3分の1以内であること。 ※卒業所要単位を算入(資格に関する科目は除く)</p>						<p>● 2年次生以上 前年度までに以下の単位を修得している人。 ※卒業所要単位および認定単位を算入(資格に関する科目は除く)</p>					
		2年次	3年次	4年次	5年次	6年次		2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
	法						法	24	46	82		
	経済						経済	25	50	76		
	経営						経営	24	52	82		
	人文						人文					
	心理						心理	30	60	90		
	現代社会	40	79	104			現代社会					
	GC						GC					
	総リハ						総リハ	30	理作:60 社:70	理作:101 社:100		
栄養						栄養	26	45	101			
薬				175	200	薬	32	64	98	128	152	
	<p>● 1年次生 ・高校時の評定平均値3.5以上 ・高等学校卒業程度認定試験合格者</p>						<p>● 1年次生 ・高校時の成績が平均水準以上と認められる人</p>					

その他の注意点

① 申込者と生計維持者(父母等)のマイナンバーを日本学生支援機構へ提出する必要があります。② 外国籍の場合、在留の様態により出願資格がないことがありますので窓口で相談してください。③ 大学を卒業または退学後、再入学した者は日本学生支援機構奨学金の出願資格がないことがありますので窓口で確認してください。④ 留年に相当する間は、日本学生支援機構奨学金に出願できません。⑤ 現在、日本学生支援機構奨学金を貸与中の人(予約採用を含む)で、第二種奨学金から第一種奨学金への移行(その反対も含む)や、併用貸与(第一種・第二種の両方を借りること)を希望する場合にも出願できます。※必ず移行、併用できるとは限りません。⑥ 現在休学中で、出願を希望している人は、窓口で相談してください。⑦ 2017年度以降入学者で生計維持者が住民税(所得割)非課税(0円)の人は、第一種奨学金の学業成績基準が異なりますので、窓口で確認してください。

貸与奨学金について

貸与
(借りる)

経済的理由により修学困難な学生に学資を貸し付けることを目的に、日本学生支援機構(以下、JASSO)が実施する育英奨学事業です。

■ 貸与奨学金の種類

毎月月額が
振り込まれる

第一種奨学金 (無利子貸与制)

第二種奨学金 (有利子貸与制)

入学時のみ申請可。
初回振込時に一括貸与
※条件あり

入学時特別増額貸与奨学金 (有利子貸与制)

■ 貸与期間：最短修業年限の3月分まで

⇒ つまり、最長で4年生の3月分まで借りられる

なお、卒業後に学生自身に返還義務が生じます。

貸与奨学金について

貸与
(借りる)

第一種奨学金(無利子貸与制)

毎月月額が振り込まれる

区分	自宅	自宅外
貸与 最高月額	54,000円	64,000円
貸与 最高月額以外		50,000円
	40,000円	40,000円
	30,000円	30,000円
	20,000円	20,000円

第二種奨学金(有利子貸与制)

毎月月額が振り込まれる

貸与月額
20,000円~120,000円 (1万円単位) から選択

入学時特別増額貸与奨学金 (有利子貸与制)

入学時のみ申請可。
初回振込時に一括貸与
※条件あり

■ **貸与額** ※希望する金額を選択。一括入金。 ※採用条件あり

100,000円、200,000円、300,000円、400,000円、500,000円

貸与奨学金を申し込むには、必ずどちらかの保証制度を選択する必要があります。

① 人的保証制度 (保証料:不要)

一定の条件にかなった連帯保証人と保証人を選任し、その人の保証を受けて奨学金の貸与を受ける。保証料はありません。

② 機関保証制度 (保証料:必要)

指定された保証機関に加入して保証を受けることで、奨学金の貸与を受ける。振込月額から保証料が差し引かれます。

原則、保証制度は

採用後に変更ができません。

慎重に選択してください。

① 人的保証制度 (保証料:不要)

連帯保証人・保証人を選任し、奨学金採用後に印鑑登録証明書等が必要となります。必ず事前に了承を得てください。
不適正な選択をした場合、採用が取り消されます。



連帯保証人

【原則】**父**もしくは**母**

保証人

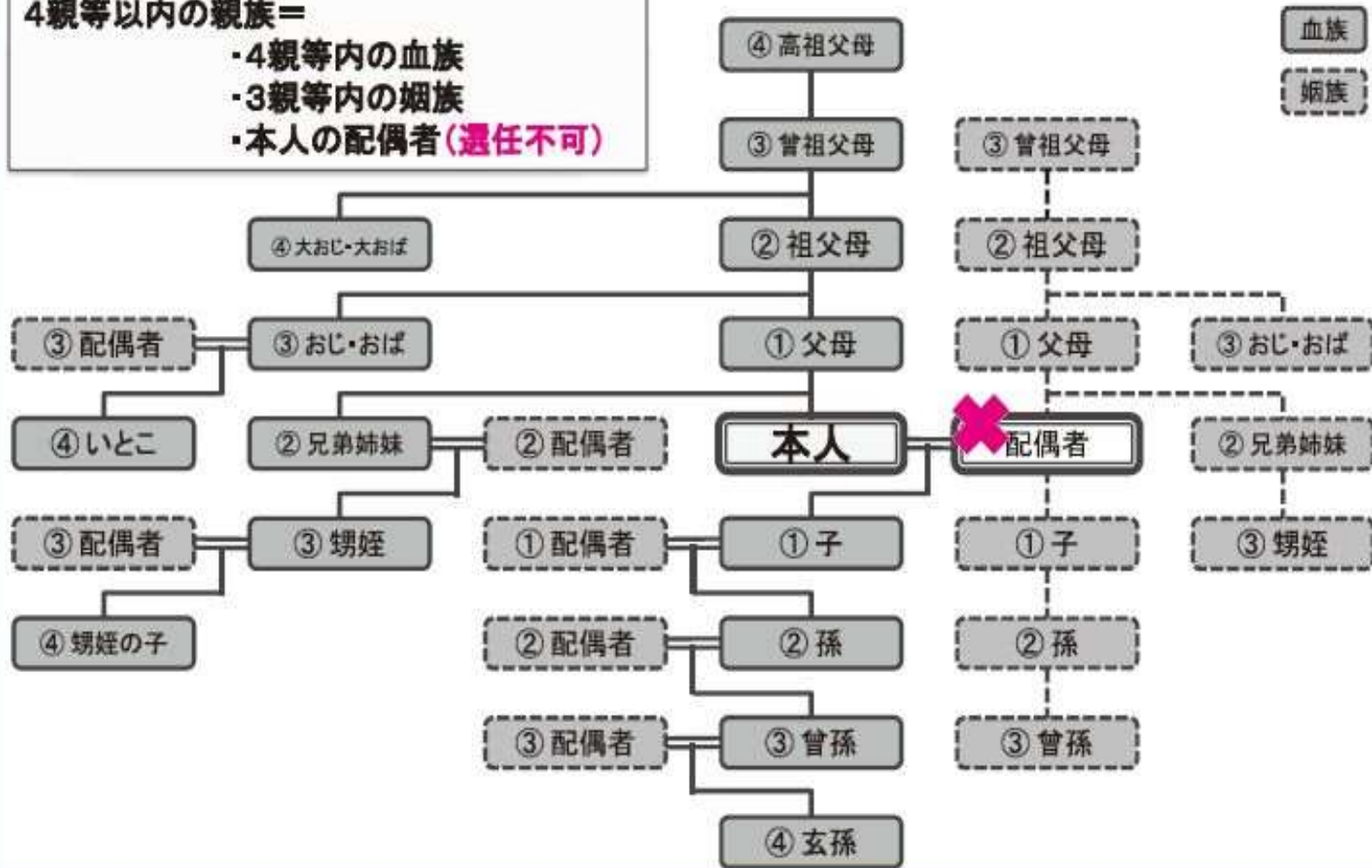
【原則】本人・連帯保証人とは別生計で、**父母を除く4親等以内65歳未満の成人親族**（おじ・おば等）

※条件により65歳以上でも可。

4. (参考) 4親等以内の親族の範囲

4親等以内の親族＝

- ・4親等内の血族
- ・3親等内の姻族
- ・本人の配偶者(選任不可)



詳しくは『貸与奨学金案内』P.24～をご確認ください

②機関保証制度 (保証料:必要)

奨学金の貸与を受けるにあたって、毎月一定の保証料を支払うことで、保証機関が連帯保証するものです。※入学時特別増額貸与奨学金にも保証料はかかります。

●2023年度採用 保証料目安

奨学金種別	月額	保証料 (月額)
第一種	30,000	947
	54,000	1,928
	64,000	2,666
第二種	30,000	1,134
	50,000	2,145
	80,000	4,392
	100,000	5,491
	120,000	6,589

※機関保証は毎月保証料が差し引かれて奨学金が振込まれます。

給付奨学金について

給付
(支給される)

給付奨学金

毎月月額が
振り込まれる

支援区分	私立大学	
	自宅	自宅外
第1区分	38,300円 (42,500円)	75,800円
第2区分	25,600円 (28,400円)	50,600円
第3区分	12,800円 (14,200円)	25,300円
第4区分 (多子世帯に限る)	9,600円 (10,700円)	19,000円

給付奨学金採用者は
国の授業料等減免の支援を
受けることもできます。

半年に一度
減免支援

〈参考〉授業料等減免等の上限額(年額)

給付
(支給される)

支援区分	授業料減免額 (年額)	入学金減免
第1区分 (住民税非課税世帯) 満額	約70万円	約26万円
第2区分 減免額の3分の2	約47万円	約17万円
第3区分 減免額の3分の1	約23万円	約9万円
第4区分 減免額の4分の1	約18万円	約7万円
支援区分外	0円	0円

⑤ 振込依頼書

⑥ 遡及取消に係る誓約書

提出する書類



上記は年間を通じて支援区分に変更がなかった場合の金額です。
毎年10月に支援区分の見直しがあり、授業料減免額が変更になることがあります。

次のページから給付奨学金について
覚えておいてほしいことを説明します

自宅外通学の月額支給 3つのポイント

- ①「自宅外通学」を選択した場合であっても、
はじめは自宅月額での支給開始となります。
- ②「実家以外の場所に家賃を支払って居住していることの証明書」と
「通学形態変更届（自宅外通学）」という書類の提出が必要です。
- ③ **JASSOによる審査があり**、「自宅外通学」と認められると
承認された月からの差額がまとめて振り込まれます。



自宅外通学の月額支給申請については、皆さんが奨学金採用者になってから行う「**採用説明会**」でお話しします。

併給調整とは？

給付奨学金を受けている人が、併せて第一種奨学金の貸与を受ける場合、支援区分に応じて貸与月額が調整されます。

支援区分	調整後の第一種奨学金の振込月額	
	自宅	自宅外
第1区分	0円	0円
第2区分	0円	0円
第3区分	21,700円 (20,000円、30,300円)	19,200円
第4区分	29,800円 (20,000円、38,700円)	20,000円、30,400円

- ・現在第一種奨学金を受けている人で、給付奨学金を申込み人
- ・今回、給付奨学金と第一種奨学金を両方申込み人

併給調整の詳細は必ず『給付奨学金案内P.18』を確認しましょう

支援区分の見直しと併給調整

給付
(支給される)

支援区分の見直しとは？

毎年10月に
支援区分見直しあり！

- ① **毎年10月**に学生本人及び生計維持者の経済状況に基づき、
給付奨学金ならびに授業料減免の支援区分見直しがあります。

※JASSOがマイナンバーから住民税情報及び申告された資産額を見ていきます。

- ②この時に**採用時の支援区分から変わることがあります。**

- ③支援区分が『第3区分』や『第4区分』、『支援対象外』となった場合、
第一種奨学金の貸与資格があると自動的に貸与月額が振り込まれます。



併給調整で第一種奨学金の振込月額が0円になっても、
安易に辞退手続きをしないでください。
一度辞退すると第一種の資格を元に戻すことはできません。



年に1度
成績判定が
あります！

(例) 給付奨学金の学業成績の基準

<p>廃止</p>	<p>次の各号のいずれかに該当すること（災害、傷病その他のやむを得ない事由があると認められる場合を除く）。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 修業年限で卒業又は修了できないことが確定したこと。 2. 修得した単位数（単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数。下記に示す「警告」の区分において同じ。）の合計数が標準単位数の5割以下であること。 3. 履修科目の授業への出席率が5割以下であることその他の学修意欲が著しく低い状況にあると認められること。 4. 下記に示す「警告」の区分に該当する学業成績に連続して該当すること（下記に示す「停止」の区分に該当するものを除く）。
<p>停止</p>	<p>下記に示す「警告」の区分に該当する学業成績の基準に連続して該当すること（2回目の警告が「警告」の区分の2. に掲げる基準のみに該当することによる場合に限る。ただし、連続して3回該当する場合は除く）。</p>
<p>警告</p>	<p>次の各号のいずれかに該当すること（災害、傷病その他のやむを得ない事由があると認められる場合を除く）。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 修得した単位数の合計数が標準単位数の6割以下であること（上記の「廃止」の区分の2. に掲げる基準に該当するものを除く）。 2. GPA等が学部等における下位4分の1の範囲に属すること。 （次のア、イに該当する場合を除く） ア 確認大学等における学修の成果を評価するにふさわしく、かつ職業に密接に関連する資格等に十分に合格できる水準にある場合 イ 社会的養護を必要とする者で、確認大学等における学修に対する意欲や態度が優れていると認められる場合 3. 履修科目の授業への出席率が8割以下であることその他の学修意欲が低い状況にあると認められること（上記の「廃止」の区分の3. に掲げる基準に該当するものを除く）。



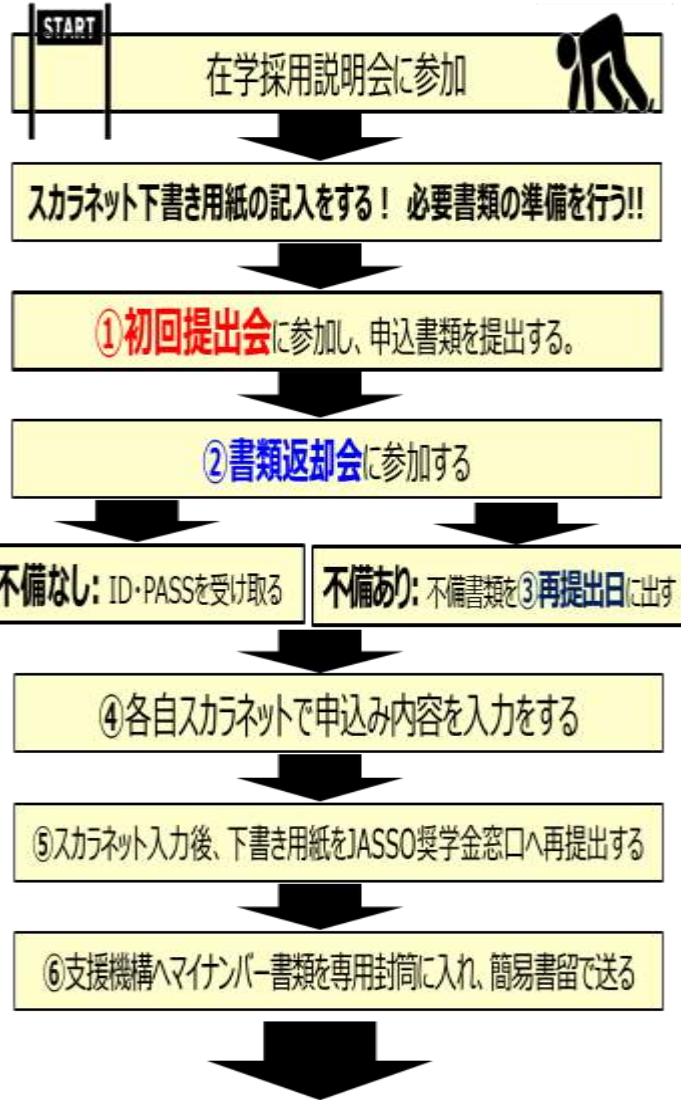
赤枠の学業基準を満たさない場合は奨学生資格が「廃止」または「停止」となります。また、著しく学業成績が悪い場合は、給付奨学金の返還が必要になるので注意してください。

貸与奨学金にも別途基準があります。学業成績を満たさない場合「廃止」または「停止」になります。



申込スケジュール

全員



①【初回提出会】

4月10日(水) 10:30~14:00、11号館1階大会議室
対象学部：経済、栄養

4月11日(木) 10:30~14:00、11号館1階大会議室
対象学部：総リハ、人文、心理

②【書類返却会】

4月18日(木) 10:30~14:00、11号館1階大会議室
対象学部：経済、栄養

4月19日(金) 10:30~14:00、11号館1階大会議室
対象学部：総リハ、人文、心理

③【再提出日】※不備ありの人の全員

4月24日(水) 17時までに3号館1階 JASSO奨学金窓口

④スカラネットでの入力

4月25日(木) 23:59まで

⑤入力後のスカラネット下書き用紙の再提出

4月26日(金) 17時まで 3号館1階 JASSO奨学金窓口

⑥入力後のマイナンバー書類の提出

4月30日(火)必着 各自、専用封筒でJASSOへ郵送

①～⑥の手続きを一つでも
怠ると申込不可です。
期日遅延も同様です。

採用者には6月上旬(予定)に学内情報サービスから
次の手続きについて通知します

注意

期日に遅れそうな時

全員

期日に遅れそうな時は
いかなる理由の場合も
必ず事前に連絡を！



連絡なく期日に
遅延した場合は
出願できません



出願書類チェックリストの記入方法

全員

≪記入する際のポイント≫

本人チェック欄に必ず☑を入れてから提出してください!!!

【学校記入欄】 初回提出日: 月 日

出願書類とこの用紙を必ず提出して下さい!!

日本学生支援機構「給付型奨学金」・「貸与型奨学金」出願書類チェックリスト

(学部生)	学部	年	フリガナ	
			氏名	
学籍番号			あなたの携帯番号	
貸与奨学金を希望しますか? 希望する() - 希望しない() ※希望する場合は「返済計画書」の記入も必要です。詳しくは提出して下さい。				
給付奨学金を希望しますか? 希望する() - 希望しない()				

①	提出	OK (ID・パス)	→ 配付日: / /
②	担当	不備 再提出	OK (ID・パス) 不備 再々提出
		→ 締切日: / /	→ 配付日: / /
			→ 締切日: / /

<記入欄について>

- 出願に必要な書類を確認し、本人チェック欄に必ずしてください。
- 提出書類の記入にあたっては、フリクションペンを絶対に使用しないこと。

(本人、又は他のマイナンバーを併用して提出する場合は必ず「提出」欄に記入してください。)

これまで申請したことがありますか? 申請したことがない 申請したことがある (一律申請欄を記入してください)

番号	書類	確認事項	本人チェック	大学チェック	内容チェック
☆全員提出 貸与型奨学金・給付型奨学金共通					
①	出願書類チェックリスト(本紙)	提出時に本人チェック欄にて確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②	スワフネット入力下書き用紙(記入したもの) →「奨学金案内」の中心部分にある。	必要事項を正確に記入していただくこと	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③	学籍計画書	※2019-20年度申請者記入して下さい。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●貸与型奨学金申込 全員提出					
④	保証書(保証人特約の取扱いに関する同意書(提出用)) →「貸与奨学金案内」一番後ろのページにある。	有り難して、本人が署名	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●給付型奨学金申込 全員提出					
⑤	給付奨学金申込書(提出用) →「給付奨学金案内」一番後ろのページにある。	「マイナンバー」欄を必ず記入してください。提出時にID2999で記入すること。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥	奨学金申込書	申請料を現金で交付先口座に振り込んで下さい。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑦	授業料等減免の選及取扱いに係る誓約書	申込書の添付書類も必要になります。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑧	その他	上記以外の提出書類がなければ「内容」欄を記入し、提出して下さい。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

全員記入

全員記入

貸与出願者は記入

給付出願者は記入



申請書類と一緒にチェックリストも提出すること

学修計画書について

全員

「記入する際のポイント」

修学支援に係る学修計画書

申請者氏名				
学部・学科・学年	学部	学科	年	

1. 学修の目的(目的の概要を記す)

現在在籍中の課程での学修の目的はどのようなものか、次の(1)から(3)の中から1つを、その内容を記述してください。(200～400文字程度)

(1) 既修に統合し、継承(準備)があり、その継承(準備)に続くための知識の整理や疑問を解消するための。
(2) 新たな学問分野や実務的領域があり、それらに関する知識を習得し、理解を深めるための。
(3) 将来、社会人として自立するための基礎的な能力を身に付けるための。

「学修の計画」を、
200～400字程度で記入

2. 学修の計画

前述の学修の目的の実現のために、具体的に何をどのように学ぼうかと、今後、何をどのように学ばないかと考えているかを記述してください。(200～400文字程度)

「学修の目的」を、
200～400字程度で記入

「卒業まで学びを継続し、全うしようとする意志がある」にチェック

「どのような姿勢で学びに取り組もうと考えているか」を、
200～400字程度で記入

黒の消せないボールペンで正確に記入!

3. あなたは、卒業まで学びを継続し、全うする意志を持っていますか、次の欄の中から該当するものを記入してください。

卒業まで学びを継続し、全うしようとする意志がある。
 卒業まで学びを継続し、全うしようとする意志はない。

上記で「通学修、卒業まで学びを継続し、全うしようとする意志がある」と選択した場合、どのような姿勢で学びに取り組もうと考えているかを記述してください。(200～400文字程度)

学修費記入欄
総合判定結果

1. からのみと総合的に考慮して、在学中の学修費認定結果

在学中の学修費認定があると認められる。
 在学中の学修費認定があると認められず。

「確認書兼個人情報情報の取扱いに関する同意書」の記入方法

貸与
(借りる)

給付と貸与両方

コピーして使用する場合は、必ず裏面の約款も両面コピーしたものを使用してください。

提出用

(貸与奨学金) 確認書兼個人情報情報の取扱いに関する同意書
(大学・短期大学・専修学校専門課程)

(西暦) 年 月 日

貸与行政法人
日本学生支援機構理事長 殿

私は、貸与行政法人日本学生支援機構(以下「機構」という)の奨学金の借手を受けると知り、インターネットによる貸与申込みの申し込みは貸与申込みの記録の有効期限内に完済が前提の場合、個人情報情報の取扱いに関する同意書(本同意書)を提出し、機構が記録管理に必要記載事項について、確認し、同意の上、貸与することを承諾し、本確認書兼個人情報情報の取扱いに関する同意書を提出します。また、第一種奨学金として貸与を受ける場合は大学等における進学に関する奨学金(第一種)の取扱いに関する同意書も併せて提出します。関係法令の趣旨に基づき貸与第一種奨学金の取扱い(貸与)は期間(有期)あるときは借手の同意(承諾)に基づき行われることであることを同意します。さらに借手に提出する個人情報については、関係法令の範囲で借手が利用することに同意します。借手同意を拒否する場合には、貸与申請(貸与申込み)を日本学生支援機構(以下「本機構」)に提出すべき保証料は、機構が貸与申込みの取扱いの際に私が借手全額から差し引かれて返戻することはありません。

姓	氏名	学号(学籍番号)	住所(〒) 都道府県	市町村	番
フリガナ					
性別					
年齢					
学年					
入学年					
入学月					
入学日					
入学校名					
入学課程					
入学種別					
入学種別					
入学種別					

学生本人

貸与行政法人
日本学生支援機構理事長 殿

私は、貸与行政法人日本学生支援機構(以下「機構」という)の奨学金の借手を受けると知り、インターネットによる貸与申込みの申し込みは貸与申込みの記録の有効期限内に完済が前提の場合、個人情報情報の取扱いに関する同意書(本同意書)を提出し、機構が記録管理に必要記載事項について、確認し、同意の上、貸与することを承諾し、本確認書兼個人情報情報の取扱いに関する同意書を提出します。また、第一種奨学金として貸与を受ける場合は大学等における進学に関する奨学金(第一種)の取扱いに関する同意書も併せて提出します。関係法令の趣旨に基づき貸与第一種奨学金の取扱い(貸与)は期間(有期)あるときは借手の同意(承諾)に基づき行われることであることを同意します。さらに借手に提出する個人情報については、関係法令の範囲で借手が利用することに同意します。借手同意を拒否する場合には、貸与申請(貸与申込み)を日本学生支援機構(以下「本機構」)に提出すべき保証料は、機構が貸与申込みの取扱いの際に私が借手全額から差し引かれて返戻することはありません。

この書は「貸与行政法人日本学生支援機構(以下「機構」という)の奨学金の借手を受けると知り、インターネットによる貸与申込みの申し込みは貸与申込みの記録の有効期限内に完済が前提の場合、個人情報情報の取扱いに関する同意書(本同意書)を提出し、機構が記録管理に必要記載事項について、確認し、同意の上、貸与することを承諾し、本確認書兼個人情報情報の取扱いに関する同意書を提出します。また、第一種奨学金として貸与を受ける場合は大学等における進学に関する奨学金(第一種)の取扱いに関する同意書も併せて提出します。関係法令の趣旨に基づき貸与第一種奨学金の取扱い(貸与)は期間(有期)あるときは借手の同意(承諾)に基づき行われることであることを同意します。さらに借手に提出する個人情報については、関係法令の範囲で借手が利用することに同意します。借手同意を拒否する場合には、貸与申請(貸与申込み)を日本学生支援機構(以下「本機構」)に提出すべき保証料は、機構が貸与申込みの取扱いの際に私が借手全額から差し引かれて返戻することはありません。」

この書は「貸与行政法人日本学生支援機構(以下「機構」という)の奨学金の借手を受けると知り、インターネットによる貸与申込みの申し込みは貸与申込みの記録の有効期限内に完済が前提の場合、個人情報情報の取扱いに関する同意書(本同意書)を提出し、機構が記録管理に必要記載事項について、確認し、同意の上、貸与することを承諾し、本確認書兼個人情報情報の取扱いに関する同意書を提出します。また、第一種奨学金として貸与を受ける場合は大学等における進学に関する奨学金(第一種)の取扱いに関する同意書も併せて提出します。関係法令の趣旨に基づき貸与第一種奨学金の取扱い(貸与)は期間(有期)あるときは借手の同意(承諾)に基づき行われることであることを同意します。さらに借手に提出する個人情報については、関係法令の範囲で借手が利用することに同意します。借手同意を拒否する場合には、貸与申請(貸与申込み)を日本学生支援機構(以下「本機構」)に提出すべき保証料は、機構が貸与申込みの取扱いの際に私が借手全額から差し引かれて返戻することはありません。」

この書は「貸与行政法人日本学生支援機構(以下「機構」という)の奨学金の借手を受けると知り、インターネットによる貸与申込みの申し込みは貸与申込みの記録の有効期限内に完済が前提の場合、個人情報情報の取扱いに関する同意書(本同意書)を提出し、機構が記録管理に必要記載事項について、確認し、同意の上、貸与することを承諾し、本確認書兼個人情報情報の取扱いに関する同意書を提出します。また、第一種奨学金として貸与を受ける場合は大学等における進学に関する奨学金(第一種)の取扱いに関する同意書も併せて提出します。関係法令の趣旨に基づき貸与第一種奨学金の取扱い(貸与)は期間(有期)あるときは借手の同意(承諾)に基づき行われることであることを同意します。さらに借手に提出する個人情報については、関係法令の範囲で借手が利用することに同意します。借手同意を拒否する場合には、貸与申請(貸与申込み)を日本学生支援機構(以下「本機構」)に提出すべき保証料は、機構が貸与申込みの取扱いの際に私が借手全額から差し引かれて返戻することはありません。」

《記入する際のポイント》

- ①必ず学生本人が記入する！
代筆は不可！
- ②黒ボールペンで各自が署名する。
消せるボールペン(フリクション)NG!
- ③住所は**現住所**を記入する。

ピンクの冊子の一番後ろのページに挟まっています

「給付奨学金確認書」の記入方法

給付
(支給される)

必ず!!「マイナンバー提出書」の
「申込ID」をここに記入してください

給付奨学金確認書

(※2019年度以前採用給付奨学金の繰返及び第一種奨学金契約変更の申請書)

独立行政法人

日本学生支援機構理事長 殿

私は、独立行政法人日本学生支援機構（以下「機構」という。）の給付奨学金（大学等における修学の実績に基づき第4号及び独立行政法人日本学生支援機構法第17条の規定する学費奨学金をいう。）をインターネットから申し込みにあたり、2019年度給付奨学金案内に記載の内容を確認し、関係法令上、機構の規程等を行うに同意し承諾することと致しまして、私の同意又は承諾に基づき私の生計維持者の資力が記載のとおりと相違ないことを誓約し、本申請書添付書類を提出します。

私は、給付奨学金として採用された後、定期的に連絡の審査があり、その審査により、成績不振等により行不能が認められたときは、法令等の定めにより、奨学金が一定期間停止されるか又は中止される場合があります。成績不振等の状況については交付された奨学金を返還しなければならぬ場合があることを承知しています。また、滞学性の審査は経済状況についても行われ、法令等の定めにより、奨学金の支給額が削減される場合があります。また、本確認書に記載した内容及び誓約書に基き、給付奨学金に適用される事項に相違があった場合には、奨学金としての効力が取り消され、支給された奨学金全額の100%の140倍一括返金しなければならない場合があります。また、奨学金としての効力が取り消され、支給された奨学金の戻りもしくは支給を受けているときは、当該第一種奨学金の貸付期間については、法令等の規定に基づき現在の期間から繰戻又は繰越された額（繰越あるときは機構の定める額）に算入されることと致しまして、2019年度以前から交付されている給付奨学金については、法令等の規定に基づき、返還することと同意します。機構が行う滞学性の審査等により給付奨学金の支給額が削減された場合には、私が機構の第一種奨学金であるときは、当該第一種奨学金の貸付期間、法令等の規定に基づき現在の期間から繰戻又は繰越された額（繰越あるときは機構の定める額）に算入されることと同意します。

私は、本確認書に記載した内容及び誓約書に基き、給付奨学金に適用される事項に相違があった場合には、奨学金としての効力が取り消され、支給された奨学金全額の100%の140倍一括返金しなければならない場合があります。また、奨学金としての効力が取り消され、支給された奨学金の戻りもしくは支給を受けているときは、当該第一種奨学金の貸付期間については、法令等の規定に基づき現在の期間から繰戻又は繰越された額（繰越あるときは機構の定める額）に算入されることと同意します。機構が行う滞学性の審査等により給付奨学金の支給額が削減された場合には、私が機構の第一種奨学金であるときは、当該第一種奨学金の貸付期間、法令等の規定に基づき現在の期間から繰戻又は繰越された額（繰越あるときは機構の定める額）に算入されることと同意します。

私は、私の生計維持者が機構にマイナンバーを提出しているときは、貴機構が「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」及び関係法令で定められた範囲で、最高のマイナンバーを利用すること及び地方自治体等を利用することに同意します。

「マイナンバー提出書」に記載の申込ID

1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	その他

申込者本人

氏名	姓	名	フリガナ	
生年月日	西暦	年	月	日

学生本人

生計支持者①

氏名	姓	名	フリガナ	
生年月日	西暦	年	月	日

生計支持者②

氏名	姓	名	フリガナ	
生年月日	西暦	年	月	日

※「生計支持者」欄は、生計支持者又は申込者本人（本人が）のいずれかが記入してください。
※申込者本人（本人が）が未成年（18歳未満）の場合は、親権者欄のある旨に記入が必要です。書式に基づき学校へお問い合わせください。

マイナンバー提出書

申込ID

初期パスワード

氏名 (西暦)

生年月日 (西暦)

年 月 日

給付と貸与両方

「記入する際のポイント」

- ※署名は必ず自署にて記入してください。
- ※黒ボールペンで各自が署名する。
消せるボールペン(フリクション)NG!
- ※修正液や修正テープ等は使用NG!
住所は現住所を記入する。
- 住所は「同上」「本人と同じ」「〃」等の記入はNG!! 正確に記入してください。



青色の冊子の一番後ろのページに挟まっています

『振込依頼書』の注意点

給付
(支給される)

給付と貸与両方

振込依頼書

1

奨学金振込依頼書

1 戸学院大学 財務経理グループ長 下記の口座に「大学等における給学支援のための法律」にもとづく授
[料等減免額(還付金)]を振り込んでくださるよう、お願いいたします。

提出年月日	年	月	日
金融機関名	銀行・信用組合・都() 農協・信用金庫 (都()に○)		
支店名	支店・出張所 他() (都()に○)	預金種別	普通預金
フリガナ			
口座名義人			
口座名義人フリガナ			
口座番号	店番番号	口座番号	
所属	学籍番号	学生氏名	学生連絡先(携帯電話)
	学部		

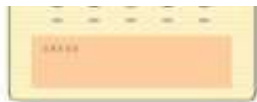
※ゆうちょ銀行の場合、上記「支店名」欄に店番の3桁の漢数字を記入してください。

ポイント

振込先の口座は
学生本人以外の口座でもOK!
(例：父母の口座)

注意

2 通帳のコピー または
キャッシュカードのコピーを貼る!
(コピーは白黒でOK)



この書類が未提出だと
給付奨学金が採用になっても
授業料減免額の振込が
受けられません。

『遡及に係る誓約書』の注意点

給付
(支給される)

給付と貸与両方

遡及に係る誓約書

ポイント

- ・朱肉を使う印鑑で押す
- ・本人、親は別々の印鑑を押す



注意

- ①は学生本人、
- ②は入学時に大学に届出した保証人が
自筆で記入する。
同一人物が全てを記入した場合、
受取不可です。

授業料等減免の遡及取消に係る誓約書

年 月 日

神戸学院大学 様

① 本人	ふりがな	学 籍 番 号
	氏 名	
② 連帯保証人	住所	
	ふりがな	
	氏 名	
	住所	

※必ず各自が記入し、印鑑は各自のものを朱肉で鮮明に押印してください。

該学支援制度の授業料等減免を受けるにあたり、連帯保証人様の上で次のとおり誓約いたします。

- より一層学業に励み、健康に留意するとともに、奨学生としてふさわしい学生生活を送るよう努めます。
- 下記の(1)から(3)の事由に該当した場合は、授業料等減免対象者としての認定の効力が当該学業成績に係る学年の初日に遡って失われることを承知しています。
 - 災害、権利、その他やむを得ない事由がなく、学業成績等が著しく不良であり、学業の実態が認められない状況。具体的には下記のいずれかに該当する場合はいう。
 - 修得単位数の合計(累積)が標準単位数の1割以下である場合
 - 出席率が1割以下など、学修意欲があると認められない場合
 - 大学から退学・停学(無期又は3カ月以上)の懲戒処分を受けた場合
 - 偽りその他不正の手段により支援制度を受けた場合
- 上記2により遡及取消となった場合は、当該年度の授業料等減免該当金額を滞りなく返還いたします。

*1. 減免対象となる単位数は、 $\frac{\text{標準単位数} \times \text{修得率}}{100}$ となる。

あなたが記入する下書き用紙はコレ！



• 借りる(貸与)奨学金を申込み人

→ **ピンク色**



• もらう(給付)奨学金を申込み人

• もらう・借りるの両方を申込み人

→ **青色**



まず、**借りる(貸与)奨学金**を申込み人の 下書き用紙の書き方について説明をしていきます

※下書き用紙に表示している内容は2024年1月現在のものであり、実際の表示とは異なる場合があります

2024年度
スカラネット入カ下書き用紙
【貸与奨学金のみ申込み用】(大学・短大・専修学校専門課程)

貸与奨学金のみを申し込む際の「スカラネット入カ下書き用紙」です。在学している学校が短大・大学等(給付奨学金対象校)であり、給付奨学金と貸与奨学金の両方を申し込む場合は、給付奨学金案内に記載されている「スカラネット入カ下書き用紙【給付奨学金(貸与奨学金申込み)用】」を使用してください。
※丸、緊急採用・緊急採用に申し込む場合は、こちらの用紙を使用してください。

スカラネットURL: <https://www.sas.jasso.go.jp/>
受付時間: 8:00~25:00(最終締切日は8:00~24:00)
※受付時間が過ぎると運営が強制終了します。余裕をもって入力を開始してください。
入カ所要時間の目安は30分~1時間です。

氏名 学籍番号 学部・学科・分野

交付番号

【スカラネット入カの際に、手元に用意する書類】

- 学校から受け取ったマイナンバーカード(マイナンバーとパスワード)
- マイナンバー証明書
- 奨学金申込口座(本人名義)の通帳などのコピー(非特字E4ページに貼り付けてください。)

【スカラネット入カ内訳記入欄】

オンラインネットでの申し込み時は、「奨学金案内」37ページ「(給付)奨学金」を参照して文字を入力して

奨学金種別(学校・申込の種別)

申込理由(大学への理由の書面)

申込希望期間(入学から卒業まで)

申込希望額(入学から卒業まで)

申込希望回数(入学から卒業まで)

申込希望開始月(入学から卒業まで)

申込希望終了月(卒業後)

申込希望開始日(入学から卒業まで)

申込希望終了日(卒業後)

申込希望開始月(入学から卒業まで)

申込希望終了月(卒業後)

申込希望開始日(入学から卒業まで)

申込希望終了日(卒業後)



※下書き用紙に表示している内容は2024年1月現在のものであり、実際の表示とは異なる場合があります

2024年度
スカラネット入カ下書き用紙
【給付奨学金(貸与奨学金申込み)用】

給付奨学金と貸与奨学金の両方を申し込む際の「スカラネット入カ下書き用紙」です。この書類は給付奨学金と貸与奨学金の両方を申し込む場合に必要です。在学している学校が短大・大学等(給付奨学金対象校)であり、給付奨学金と貸与奨学金の両方を申し込む場合は、この書類を使用してください。
※丸、緊急採用・緊急採用に申し込む場合は、こちらの用紙を使用してください。

スカラネットURL: <https://www.sas.jasso.go.jp/>
受付時間: 8:00~25:00(最終締切日は8:00~24:00)
※受付時間が過ぎると運営が強制終了します。余裕をもって入力を開始してください。
入カ所要時間の目安は30分~1時間です。

氏名 学籍番号 学部・学科・分野

交付番号

【スカラネット入カの際に、手元に用意する書類】

- 学校から受け取ったマイナンバーカード(マイナンバーとパスワード)
- マイナンバー証明書
- 奨学金申込口座(本人名義)の通帳などのコピー(非特字E4ページに貼り付けてください。)

【スカラネット入カ内訳記入欄】

オンラインネットでの申し込み時は、「奨学金案内」37ページ「(給付)奨学金」を参照して文字を入力して

奨学金種別(学校・申込の種別)

申込理由(大学への理由の書面)

申込希望期間(入学から卒業まで)

申込希望額(入学から卒業まで)

申込希望回数(入学から卒業まで)

申込希望開始月(入学から卒業まで)

申込希望終了月(卒業後)

申込希望開始日(入学から卒業まで)

申込希望終了日(卒業後)

申込希望開始月(入学から卒業まで)

申込希望終了月(卒業後)

申込希望開始日(入学から卒業まで)

申込希望終了日(卒業後)



もらう・借りるの両方を申込み人

**青色の下書き用紙を見ながら
貸与を申込み際に必要な
記入事項を確認してください**

必ず記入!

- ・氏名
- ・学籍番号
- ・学部名

※下書き用紙に表示している内容は2024年1月現在のものであり、

2024年度
スカラネット入カ下書き用紙
【貸与奨学金のみ申込み用】（大学・短期大学・専修学校専門

貸与奨学金のみを申し込む際の「スカラネット入カ下書き用紙
（給付奨学金対象校）であり、給付奨学金と貸与奨学金の両方を申し込む場合は、給付奨学金案内に記載さ
まれている「スカラネット入カ下書き用紙【給付奨学金（貸与併用申込み）用】」を使用してください。
なお、緊急採用・応急採用に申し込む場合は、こちらの下書き用紙を使用してください。

スカラネットURL <https://www.sas.jas.go.jp/>
 受付時間 8:00~25:00（最終受付） 18:00~24:00
 ※受付時間を過ぎると画面が強制終了します。余裕をもって入カを開始してください。
 入カ所要時間の目安は30分~1時間です。

氏名	学籍番号	学部・学科・分野
奨学 花子	1234567	法学部

入力の際に必要な項目です。学籍番号に必ず正しい名称を記載してください。

入力終了後「送信」ボタンをクリックすると、受付番号が画面に表示されます。
 入力内容が、事務局で確認された場合、学籍番号・応急採用・緊急採用で申込みが完了します。

【スカラネット入カの際に、手元に用意する書類】

- ・学校から受け取った識別番号（ユーザIDとパスワード）
- ・マイナンバー提出書
- ・奨学金振込口座（本人名義）の通帳などのコピー（本冊子 14 ページに貼り付けてください。）

【スカラネット入カ内容記入欄】

※インターネットで申し込む際は、「奨学金案内」37ページ「(3) 文字入力」を参照して文字を入力してください。

識別番号入力
 あなたの識別番号（学校から交付されたユーザIDとパスワード）を入力してください。
 （注）パスワード入力の際は全角・半角、大文字・小文字の区別をします。

ユーザID: [] パスワード: []

奨学金の種類（学校）・申込の選択
 あなたはどの課程で奨学金を受けたいですか。
 課程：大学の場合の表示例

(1) 緊急採用（1次又は2次 給付奨学金・貸与奨学金）
 現在在学している大学での奨学金を申込みことができます。

(2) 緊急採用（貸与奨学金のみ）
 生計維持費に特定の事由が生じたことなどで緊急貸付、急変後の収入減少による特別補助に該当される前に支援を要する場合のみ申し込みのことができます。
 学校で申込資格を確認してください。

(3) 緊急採用（応急採用・緊急採用）（貸与奨学金のみ）
 生計を維持している人が疾病、傷病、死傷等又は火災、風水害等により生計維持費に不足が生じた人のみ申込みのことができます。
 学校で申込資格を確認してください。

定期採用に

貸与奨学金制度

申請手順等

スカラネット入カ下書き用紙

緊急採用・応急採用

貸与開始と返還

「マイナンバー提出書」に印字されている「申込ID」と「パスワード」を記入してください

奨学金申込専用ページ

●ログイン

申込ID: 2 0 2 4 [] [] [] [] [] [] [] [] [] []
 パスワード: [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] []

【マイナンバー提出書】を事前に準備しておくください。
 「申込ID」の欄に印刷されている「ZB24」で構成する10桁の英数字を、スカラネット画面の「申込ID」に入力してください。
 「初期パスワード」の欄に印刷されている6桁の英数字を、スカラネット画面の「パスワード」に入力してください。

●メールアドレス登録
 貸与奨学金のメールアドレスを入力してください。
 ページ下部の「送信」ボタンを押すと、登録が完了します。
 【登録メールアドレスについて】
 申込IDやパスワードを忘れた場合、申込メールアドレスを登録している場合、緊急採用・応急採用からの入カを希望できるようにしてください。

●新しいパスワードの設定
 初回のみ「マイナンバー提出書」に記載した「申込ID」を入力してください。
 【パスワードの要件について】
 ●第三者に猜測されやすい数字や英字を連続して入力しないでください。
 ●第三者の目につく場所にパスワードを記入しないでください。
 ●パスワードの作成時、半年後の英字、数字を含む組み合わせであること。申込IDと異なる文字列であること。現在登録済みのパスワードと異なるものを設定してください。

●メールアドレス確認
 入力したメールアドレスに認証コードが送られてくるので、その認証コードを入力してください。

アカウント情報登録完了と表示され、本ページの「次へ」ボタンを押すと**メインページ**が表示されます。

STEP1
確認書兼同意書の提出
 ※給付奨学金の申込みにあたっては、「確認書兼同意書」を「給付申込条件」に添付して提出してください。
 ※あなたが未成年（18歳未満）の場合、法定代理人（保護者）に同意を求められる場合があります。

STEP2
日本学生支援機構奨学金の案内
 ※第一種奨学金を申し込む場合は、奨学金の貸付と返還の条件を確認してください。
 ※第二種奨学金を申し込む場合は、奨学金の貸付と返還の条件を確認してください。

マイナンバー提出書 【2023年度貸与奨学金】

スカラネット（インターネット）奨学金申込用紙 【申込IDはパスワード1桁の5桁です】

申込ID	初期パスワード
------	---------

氏名 (フリガナ)	性別	生年月日	学年	所属
奨学 花子	女	2004.03.15	1年	法学部

生計維持費の状況

生計維持費の状況	生計維持費の状況
1. 緊急採用 (1)	マイナンバー (個人番号)
2. 緊急採用 (2)	生計維持費の状況
3. 緊急採用 (3)	生計維持費の状況

確認書兼同意書の提出欄

同意する 承諾しない 印刷後、この画面を印刷して提出してください。

下書きのP.4は読み飛ばしてください。

①-あなたの氏名・詳細情報

日本学生文化検定委員会 向
私は貴検定委員会の申込みにあたり、学校に提出した「受験申請書」にしたがい、貴学生に採用決定された場合に「受験資格書」を提出し、貴学生が終了した後に速やかに返送すること及び以下の申込み記載事項について記入することを誓います。

氏名(全角漢字) 姓 名
 氏名(全角カナ) 姓 名
 生年月日

国籍が「日本国籍以外」の場合、在留資格を選択してください。
 在留資格が「特定者」の場合、日本に滞在する意図がありますか。

在留資格が「滞在滞在」の場合、大学等を卒業後も日本国で活動し、定着する意図がありますか。

在留資格が「滞在滞在」の場合、日本国に初めて入国した日について入力してください。

日本国に初めて入国した日

日本国の小学校を卒業しましたか。

卒業した小学校名

卒業した小学校の所在地(都道府県)

日本国の中学校を卒業しましたか。

卒業した中学校名

卒業した中学校の所在地(都道府県)

日本国の高等学校を卒業しましたか。

卒業した高等学校名

卒業した高等学校の所在地(都道府県)

※最終日は以後訂正することができます。

STEPS

②-奨学金申込情報

1. あなたの希望する貸与奨学金を1つ選択してください。

(a) 第一種奨学金又は第二種奨学金のどちらかを希望する人のみ記入してください。

- (1) 第一種奨学金のみ希望します。
- (2) 第一種奨学金を希望するが、不採用の場合第二種奨学金を希望します。
- (3) 第二種奨学金のみ希望します。

(b) 併用貸与を希望する人のみ記入してください。

- (4) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与のみを希望します。
- (5) 併用貸与を希望するが、不採用の場合第一種奨学金を希望します。
- (6) 併用貸与不採用及び第一種奨学金不採用の場合、第二種奨学金を希望します。
- (7) 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金のみ希望します。

(c) 併用貸与の貸与を希望してはいる人のみ記入してください。

- (8) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、第一種奨学金への変更を希望します。
- (9) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、第二種奨学金への変更を希望します。
- (10) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
- (11) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
- (12) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。併用貸与不採用の場合、第二種奨学金への変更を希望します。
- (13) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。併用貸与不採用の場合、第二種奨学金への変更を希望します。
- (14) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。併用貸与不採用の場合、第一種奨学金への変更を希望します。

上記(8)、(9)、(10)、(11)、(12)、(13)、(14)を選択した人は奨学金番号を記入してください。

奨学金番号

各自、学生証の学籍番号を書く！

昼を選択

(1)~(14)の中から1つだけ選択する ※(4)は選択NG

③-あなたの在学情報

1-学校

(1) あなたの学校名を記載してください。 (1) ×××大学

(2) あなたの学籍番号を記入してください。 (2) (半角数字4桁) ××××

(3) あなたの在学している学年(※)を記載してください。 (3) ××××年

(※) 新編大学・専修学校に在学している方は学校の表示にしたがって記載してください。

(4) あなたの専攻科名を記載してください。 (4) ××××専攻科 ○別科

(5) 学生を記入してください。 (5) (半角数字) ××××

(6) 昼間課程を希望してください。 ○昼 ○通年スクーリング ○夜間スクーリング

(7) 入学した年次を記入してください。 (7) ××××年

(8) 現在通っている学校の2年以上の学年(※)を記入してください。 (8) ××××年

(9) 現在通っている学校の2年以上の学年(※)を記入してください。 (9) ××××年

(10) 現在通っている学校の2年以上の学年(※)を記入してください。 (10) ××××年

(11) 現在通っている学校の2年以上の学年(※)を記入してください。 (11) ××××年

(12) 現在通っている学校の2年以上の学年(※)を記入してください。 (12) ××××年

(13) 現在通っている学校の2年以上の学年(※)を記入してください。 (13) ××××年

(14) 現在通っている学校の2年以上の学年(※)を記入してください。 (14) ××××年

(※) 以下5つの年次を全て記入してください。

2024年4月現在 1年生

修業年次	入学年月	卒業予定年月
2年	2025/3	2026/3
3年	2027/3	2028/3
4年	2029/3	2030/3
5年	2031/3	2032/3
6年	2033/3	2034/3

2024年4月現在 2年生

修業年次	入学年月	卒業予定年月
2年	2025/3	2026/3
3年	2027/3	2028/3
4年	2029/3	2030/3
5年	2031/3	2032/3
6年	2033/3	2034/3

2024年4月現在 3年生

修業年次	入学年月	卒業予定年月
3年	2025/3	2026/3
4年	2027/3	2028/3
5年	2029/3	2030/3
6年	2031/3	2032/3

2024年4月現在 4年生

修業年次	入学年月	卒業予定年月
4年	2025/3	2026/3
5年	2027/3	2028/3
6年	2029/3	2030/3

※長期修業学生について
長期修業学生(「奨学金案内」10ページ参照)については、原則として奨学金を受けることのできる期間(通常修業年限)に相当する期間のみとなります。この場合、卒業予定年月は通常修業年限(卒業予定年月)を、修業年次(通常修業年限)の卒業年次(卒業予定年月)を記入してください。

学部名を書く！

専攻科は「いいえ」

修業年限は4年0か月

要注意

(8)~(14)選んだ人は824-04-999999と記入しておいてください。

資格検定委員会
スカラネット入力下書き用紙
奨学金採用・応募採用
賞与開始・返還

どちらの「保証制度」を選択するか、配布した「貸与奨学金案内（ピンクの冊子）」P22を**読み、保護者の方と相談して決めてください。**

保証制度を選択する

あなたが今住んでいる住所を記入

⑦-保証制度

- あなたが希望する保証制度を選択してください。
 - (1) 借財保証
 - 借財保証制度は、選保保証人や保証人の選任が不要です（一部の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます）。
 - 借財の内容について承知し、借財保証を選択します。
 - ② 人的保証
 - 人的保証制度は、選任する選保保証人や保証人に事前に了解をとっておく必要があります。
 - 借財の内容について承知し、人的保証を選択します。
 - 併読又は併用で申し込み（STEP5併読にて、次の選択肢を選択した場合）
 - (2) 第1希望：第一種奨学金 第2希望：第二種奨学金
 - (4) 第1希望：第一種奨学金と第二種奨学金（併用）
 - (5) 第1希望：第一種奨学金と第二種奨学金（併用） 第2希望：第一種奨学金
 - (6) 第1希望：第一種奨学金と第二種奨学金（併用） 第2希望：第一種奨学金 第3希望：第二種奨学金
 - (7) 第1希望：第二種奨学金と第二種奨学金（併用） 第2希望：第二種奨学金

併読又は併用で申し込み（STEP5併読にて、次の選択肢を選択した場合）

- 第一種奨学金についてあなたが希望する保証制度を選択してください。
 - 借財保証制度は、選保保証人や保証人の選任が不要です（一部の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます）。
 - 借財の内容について承知し、借財保証を選択します。
 - ② 人的保証
 - 人的保証制度は、選任する選保保証人や保証人に事前に了解をとっておく必要があります。
 - 借財の内容について承知し、人的保証を選択します。
- 第二種奨学金についてあなたが希望する保証制度を選択してください。
 - (1) 借財保証
 - 借財保証制度は、選保保証人や保証人の選任が不要です（一部の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます）。
 - 借財の内容について承知し、借財保証を選択します。
 - ② 人的保証
 - 人的保証制度は、選任する選保保証人や保証人に事前に了解をとっておく必要があります。
 - 借財の内容について承知し、人的保証を選択します。

STEP6

⑧-貸与奨学金返還予約情報等・奨学金本人等情報

- あなた自身について入力してください。
 - (1) あなたの名前を入力してください。
 - (2) あなたの性別を選択してください。（任意）
 - (3) あなたの生年月日××年△△月○○日です。
 - (4) あなたの現在所を記入してください。
 - ※本人がマイナンバーを申請し提出できない場合は、住所別住所を入力してください。
 - 住所1（自動入力）
 - 住所2（番地以降）(全角文字)
 - (5) あなたの電話番号を記入してください。
 - ※白黒電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。
 - ※携帯電話の電話番号を記入してください。

住所の入力例

(郵便番号) 123-4567 (住所検索) 一押下

住所1(自動入力) ○東京都 新宿区 市谷本町 1丁目

○東京都 新宿区 市谷本町 2丁目

○東京都 新宿区 市谷本町 3丁目

住所2(番地以降) 99-99 階層ハイフン 505

※番地以降を全て全角で入力してください（英数字やハイフン、スペースを含む）。入力欄があるとは必ずしも一致しない場合があります。

注意！

表示された住所一覧の中から、正しい住所を選択してください。

※住所、電話番号に海外の住所等を入力することはできません。正確な取れる国内の住所、電話番号の入力をしてください。

最終学歴、卒業年月、日本学生支援機構の奨学金を受けたことがあるかなど記入して下さい。

※すでに奨学金を受けている人は「奨学生証」等であなたの奨学生番号を確認して下書きに記入してください。

STEP4

⑥-あなたの履修情報

- あなたの履修学歴を記入してください。
 - 1. 高専(半角数字4桁) 年 月 卒業または退学
- あなたが国内の高等学校(高専)を卒業しましたが、※ここでいう「高等学校」には、国内の中等教育学校の後継課程、特別支援学校の高等部、高等専門学校(第1学年から第2学年まで)及び高等学校の専修課程(修業年限が2年以上のもの)を含みます。(インターナショナルスクールや在外教育施設等は含まれません)
 - ※現在、高等専門学校の第1学年から第3学年まで在学中の場合は入力不要です。
- 【給付】あなたがこれまでに、日本学生支援機構の給付奨学金(原則、返還不要)を受けていますか。(現在支給が終了しているものを除く)
 - 【貸付】あなたがこれまでに、①奨学金申込み情報で入力した時に日本学生支援機構の貸与奨学金(第一種・第二種)(原則、返還要)を受けていますか。(現在支給が終了しているものを除く)

貸与奨学金制

申込手順等

スカラネット入力下書き用紙

緊急採用・応募採用

貸与開始→返還

⑦一保証制度で「(1) 機関保証」を選択した人

「機関保証」を選んだ方は父または母いずれかの連絡先を記入してください。

2. 本人以外に連絡先を記入する必要がある場合は、お父さまかお母さまの連絡先を記入してください。

(1) その氏名

(2) その生年月日 年 月 日 生

(3) あなたとの関係

(4) その住所

住所1 (印刷入力)

(5) その電話番号

※自宅の電話番号がなければ携帯電話の番号で構いません。

その携帯電話の電話番号

⑦一保証制度にて「機関保証」を選択した場合は次のとおりです。

機関保証を選択した人は、あなた（本人）以外の連絡先を記入する必要があります。あなたに記入する重要な事項が漏れがないよう、必ず記入した連絡先に、あなたの住所・電話番号を転送することになります。

※注意！本人以外の連絡先を入力する際に、必ずその人の連絡先を調べてください。ここで入力した「本人以外の連絡先」は保証される必要書類等に印字されます。万一、必要書類等に印字してもらえないと不便と取り急ぎ連絡を失うこととなります。

※このページの「住所の入力欄」印刷。固定電話と携帯電話を両方入力している場合は、どちらとも入力してください。

⑦一保証制度で「(2) 人的保証」を選択した人 (続き)

【人的保証】保証人情報記入欄

2. 保証人として記入する必要がある場合は、お父さまかお母さまの連絡先を記入してください。

(1) その氏名

(2) その生年月日 年 月 日 生

(3) あなたとの関係

(4) その住所

住所1 (印刷入力)

(5) その電話番号

※自宅の電話番号がなければ携帯電話の番号で構いません。

その携帯電話の電話番号

その他の電話番号

(6) その勤務先

勤務先電話番号

※保証人が複数の場合は、下記にチェックしてください。

(a) 連帯保証人と保証人と両方記入する

あなたから見た関係です。

(例) おじおば

※以下の場合は、「その他(親戚等)」と記入し、「関係」してください。

- 勤務先により勤務先に入った父兄
- 専業主婦により勤務先に入った本人の親父
- 養育の親

※「住所1」は「住所14(印刷用)」を指します。

※このページの「住所の入力欄」印刷。固定電話と携帯電話を両方入力している場合は、どちらとも入力してください。

! 保証人は、4親等以内65歳未満の成人親族（おじ・おば等）

⑦一保証制度で「(2) 人的保証」を選択した人

3. 連帯保証人と保証人について

あなたは保証制度で「人的保証」を選択しています。連帯保証人及び保証人について入力してください。

(1) 連帯保証人について入力してください。

・あなた（申込者）が成年の場合、原則として、父母・兄弟姉妹が連帯保証人として記入してください。

・未成年者等保証能力がない人は認められません。

・債務整理（破産等）中の人を連帯保証人に連帯保証人として選任することは認められません。

(2) 保証人について入力してください。

・あなた（申込者）が成年の場合、原則として、父母・兄弟姉妹が保証人として選任してください。

・未成年者等保証能力がない人は認められません。

・債務整理（破産等）中の人を連帯保証人として選任することは認められません。

(a) その氏名

(b) その生年月日 年 月 日 生

(c) あなたとの関係

(d) その住所

住所1 (印刷入力)

(5) その電話番号

※自宅の電話番号がなければ携帯電話の番号で構いません。

その携帯電話の電話番号

その他の電話番号

(6) その勤務先

勤務先電話番号

※保証人が複数の場合は、下記にチェックしてください。

(a) 連帯保証人と保証人と両方記入する

⑦一保証制度にて「人的保証」を選択した場合は次のとおりです。

連帯保証人・保証人の選任条件は必ず「貸与案内」24～26ページを参照してください。

※このページの「住所の入力欄」印刷。固定電話と携帯電話を両方入力している場合は、どちらとも入力してください。

連帯保証人・保証人について

⑦一保証制度で「人的保証」を選択した人は、連帯保証人及び保証人を1人ずつ（合計2人）入力する必要があります。

連帯保証人は、貸与金の返還についてあなたと同等の責任を負います。

保証人には、「分別の申立」が適用されます。また、「検査の拒弁権」及び「催告の拒弁権」があります（連帯保証人にはありません）。

詳しくは、「貸与案内」24ページを参照してください。

また、「貸与案内」24～26ページにより、選任した連帯保証人・保証人が機構の定める条件を満たすかどうかチェックしてください。選任条件を全て満たし、かつ必要書類を提出できる場合は、連帯保証人・保証人として選任できますので、このページの3の(1)、及び本ページの3の(2)を記入してください。

もし、1つでも選任条件を満たさない、又は必要書類を提出できない場合は、連帯保証人・保証人として選任できません。あらかじめ条件に合致する別の人を選任しなおしてください。条件に合致する人を選任できない場合は、⑦一保証制度で「機関保証」を選択し、保証制度を変更してください。

採用時に提出しなければならない書類（必要書類）には、スカラネットで入力した連帯保証人及び保証人が自署・押印（実印）し、印鑑登録証明書を送付しなければなりません。スカラネット入力前に、連帯保証人・保証人として予定している人に役割、自署・押印、提出書類について説明し、貸与金の返還について引き受けを

! 連帯保証人

【原則】父もしくは母

なお、連帯保証人・保証人の住所は「印鑑登録証明書」に記載されている住所を記入する。

この部分を二重線で消してください

⑦一保証制度で「(2) 人的保証」を選択した人

3. 連帯保証人と保証人について

あなたは保証制度で「人的保証」を選択しています。連帯保証人及び保証人について入力してください。

(1) 連帯保証人について入力してください。

・あなた（申込者）が成年の場合、原則として、父母・兄弟姉妹が連帯保証人として記入してください。

・未成年者等保証能力がない人は認められません。

・債務整理（破産等）中の人を連帯保証人として選任することは認められません。

(a) その氏名

(b) その生年月日 年 月 日 生

(c) あなたとの関係

(d) その住所

住所1 (印刷入力)

(5) その電話番号

※自宅の電話番号がなければ携帯電話の番号で構いません。

その携帯電話の電話番号

その他の電話番号

(6) その勤務先

勤務先電話番号

※保証人が複数の場合は、下記にチェックしてください。

(a) 連帯保証人と保証人と両方記入する

※このページの「住所の入力欄」印刷。固定電話と携帯電話を両方入力している場合は、どちらとも入力してください。

※「貸与案内」24～26ページを参照してください。

・未成年者等保証能力がない人は認められません。

・債務整理（破産等）中の人を連帯保証人として選任することは認められません。

※このページの「住所の入力欄」印刷。固定電話と携帯電話を両方入力している場合は、どちらとも入力してください。

(2) 生計維持者①(父・母)が、父・母がいなくなった場合において生計を維持する人

(a) あなたの住所 (a) 市区町村 (b) 海外

(b) 生計維持者①の氏名 (b) 漢字 (全角漢字) 姓 名 カナ (全角カナ)

(c) 生計維持者①の住所 (c) (郵便番号) (半角数字) 住所 1 (市町村) 住所 2 (番地以降) (全角文字)

(d) 生計維持者①の生年月日 (d) 年 月 日 生

(e) 生計維持者①のマイナンバーを申請に提出する準備はできていますか。
 (注1) 「その他」を選択した人は、提出できない事情を選択してください。
 (注2) 家族世帯のため、マイナンバーの提出が必要ですが、提出できない場合は、別途毎年所得届等書類の提出が必要となります。
 準備できている
 これから準備する
 その他

(1) 生計維持者①が2022年1月2日以後に転居したか、転居している場合は、「はい」を選択してください。
 はい いいえ

(2) 2022年1月～2022年12月までの収入情報)にて審査を行う際の提出により、
 第一希望の貸与奨学金を希望します。
 第二希望を希望する場合があります。また、上記の内容を両方の希望で提出する希望を希望しません。
 はい いいえ

(g) 生計維持者①が2023年1月1日の時点で生活保護を受けていましたか。 はい いいえ

(h) 生計維持者①が2023年1月1日の時点で日本国内に住んでいましたか。 はい いいえ

(2) 生計維持者②(父・母など)

(a) あなたの住所 (a) 市区町村 (b) 海外

(b) 生計維持者②の氏名 (b) 漢字 (全角漢字) 姓 名 カナ (全角カナ)

(c) 生計維持者②の住所 (c) (郵便番号) (半角数字) 住所 1 (市町村) 住所 2 (番地以降) (全角文字)

(d) 生計維持者②の生年月日 (d) 年 月 日 生

(e) 生計維持者②のマイナンバーを申請に提出する準備はできていますか。
 (注1) 「その他」を選択した人は、提出できない事情を選択してください。
 (注2) 家族世帯のため、マイナンバーの提出が必要ですが、提出できない場合は、別途毎年所得届等書類の提出が必要となります。
 準備できている
 これから準備する
 その他

生計維持者①②は父か母の情報を記入する。

転居している場合でも、転居していない場合は、「はい」を選択してください。
 はい いいえ

(2) 2022年1月～2022年12月までの収入情報)にて審査を行う際の提出により、
 第一希望の貸与奨学金を希望します。
 第二希望を希望する場合があります。また、上記の内容を両方の希望で提出する希望を希望しません。
 はい いいえ

(g) 生計維持者①が2023年1月1日の時点で生活保護を受けていましたか。 はい いいえ

(h) 生計維持者①が2023年1月1日の時点で日本国内に住んでいましたか。 はい いいえ

STEP3
 第一希望情報
 1. 奨学金を希望するに至った経緯事情や、他に取得を要することを記入してください。(全角200文字以内、下の記入欄をご利用ください。)

奨学金が必要な理由を具体的に書く。
 ※160字以上

経緯事情情報は、全員入力する必要がありません。特に、緊急採用・応急採用の申込みをする人は、「はい」が条件となります。変更したのが、事情をできるだけ詳しく入力してください。

併用奨学金を希望し、第二希望奨学金の募集形態を選択した場合は、募集形態を選択する「理由」も入力してください。

緊急採用・応急採用に申し込んでも、震災、火災、真水費等に被災し生計維持者が死亡、行方不明、生活不能になったことを書明して申し込めます。

①・②については次ページで解説します
※給付・貸与両方を
申込む人も聞いてください

①をわかりやすく説明すると・・・



この2年間に、生計維持者が

- ・転職してない → 「いいえ」にチェック
- ・転職した ⇒ **前より収入が増えた** ⇒ 「いいえ」にチェック
⇒ **前より収入が減った**

- ・第一希望以外でもOK。採用になったら早く振込んでほしい。⇒「いいえ」にチェック
- ・絶対、第一希望。追加書類もすぐ出し、8・9月まで採否結果を待てる。⇒「はい」にチェック

②をわかりやすく説明すると・・・

2022/12/31時点



2023/12/31時点



注意！口座情報に誤りがあると、奨学金の初回振込が大幅に遅れることがあります。

入力しようとしている口座が奨学金を受け取れる口座かどうか、次のチェックリストを使って確認してください。

- あなた本人の親・新卒口座です。
 - 銀行等の普通預金口座、または、ゆうちょ銀行の通算貯金口座です。
 - 誓約欄の力ナ氏名と連携の口座名義人（力ナ）は完全に同一です。
 - 金融機関名・支店名・口座番号（ゆうちょ銀行以外の場合）、または記号・番号（ゆうちょ銀行の場合）は正しいです。（※）
 - この口座は1年以内に起振できました（休眠口座ではありません）。
 - 農協、信託銀行、外資系銀行、SBI新生銀行、あおぞら銀行、ネットバンク、コンビニ銀行等の口座ではありません。
- ※ 3か月以内に新設された支店は選択できません場合があります。

STEPS
STEP1 奨学金振込口座情報
1. 公費受取口座の利用を希望しますか。 1. ○希望します ○希望しません
2. 振込先口座の金融機関を選択してください。 2. ○ゆうちょ銀行 ○ゆうちょ銀行以外

【ゆうちょ銀行以外を選択した場合】
1. 口座番号を入力してください。
2. 支店番号を入力してください。
3. 普通（貯蓄）口座
4. 口座名義人（全角力ナ）

【ゆうちょ銀行を選択した場合】
1. 記号・番号を入力してください。
2. 口座の記号・番号を入力してください。
3. 普通（貯蓄）口座
4. 口座名義人（全角力ナ）

入力後、「次へ」ボタンを押すと、奨学金振込口座情報確認画面に進みます。口座情報に誤りがないか確認してから、「次へ」ボタンを押してください。以降は「奨学金案内」40ページを見ながら、画面の指示に従って進めてください。

【通常の口座名義人・口座情報が記載されているページのコピーをここに貼り付け】

振込先指定口座は【本人名義】のみ！

※本人名義以外の口座は振込できません。

振込できない金融機関

※貯蓄口座・休眠口座も不可

信託銀行	農協
外資系銀行	ネットバンク
コンビニ銀行	SBI新生銀行
あおぞら銀行	一部の信用組合

下書きの15ページ以降は記入不要

もらう(給付)奨学金を 申込む人の下書き用紙の 書き方について説明をして いきます

※下書き用紙に表示している内容は2024年1月現在のものです。実際の表示とは異なる場合があります。

2024年度
スカラネット入力下書き用紙
【給付奨学金（貸与奨学金申込み）用】

独立行政法人
日本学生支援機構
JASPS Japan Student Support Organisation

給付奨学金と貸与奨学金の両方、又は給付奨学金のみを申し込み希望の「スカラネット入力下書き用紙」です。この下書き用紙には給付奨学金及び貸与奨学金それぞれに関する取扱いがあり、希望する奨学金の種類によって留意点も異なります。給付奨学金のみを申し込み込む人は、青色枠等の取扱いのみにご注意ください。給付奨学金と貸与奨学金の両方を申し込み込む人は、青色枠等と赤色枠等の両方の取扱いに留意してください。

スカラネットURL: <https://www.sas.jasso.go.jp/>
受付時間: 日: 00~25:00 (最終締切日は日: 00~24:00)
申込み期間が過ぎると申込みが締め切りました。多量をもって入力を開始してください。
入力済みの履歴は30分~1時間です。

氏名 学籍番号 学部・学科・学年

交付番号

【スカラネット入力の際、学生に用いる情報】

- 学校から送付された識別番号（コード）とパスワード
- マイナンバー（任意）
- 奨学金申込（本人利用）の通知番号とパスワード（※必ず「ログイン」に実行してください）

【スカラネット入力内検索履歴】

検索履歴を入力
本人の氏名と学年（学年は入学した年）を入力してください。
※パスワードは本人の氏名と学年を入力した年を組み合わせ、大文字・小文字・数字の組み合わせをします。

パスワード

【学校）・中心の選択】
検索して選択してください。

本人の住所情報

【住所情報】
住所情報を入力してください。郵便番号は郵便局の郵便番号を入力してください。住所情報は、奨学金の給付先や貸与先を決定するために必要です。

【家族情報】
家族情報を入力してください。家族情報は、奨学金の給付額や貸与額を決定するために必要です。

【給付情報】
給付情報を入力してください。給付情報は、奨学金の給付額や貸与額を決定するために必要です。

【貸与情報】
貸与情報を入力してください。貸与情報は、奨学金の貸与額や貸与期間を決定するために必要です。



青枠は
給付を申込む人
が気を付けて
書く箇所です。

赤枠は給付・貸与の両方を
申込む人が必ず記入必要な箇所

この用紙には、給付奨学金と貸与奨学金の両方に関する取扱いが記載されています。青色枠は給付奨学金の申込みに関する取扱い、赤色枠は貸与奨学金の申込みに関する取扱いを示しています。

【給付奨学金の申込み】
給付奨学金の申込みは、本人の住所情報や家族情報を入力する必要があります。給付額は、家族収入や世帯員数によって異なります。

【貸与奨学金の申込み】
貸与奨学金の申込みは、本人の住所情報や家族情報を入力する必要があります。貸与額は、本人の収入や世帯員数によって異なります。

【家族情報入力】
家族情報は、奨学金の給付額や貸与額を決定するために必要です。家族情報は、本人の収入や世帯員数によって異なります。

【住所情報入力】
住所情報は、奨学金の給付先や貸与先を決定するために必要です。住所情報は、本人の住所や家族の住所によって異なります。

【検索履歴入力】
検索履歴を入力することで、過去の申込み履歴を確認することができます。

【検索履歴入力】

学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
給付額	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000
貸与額	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000
返済額	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000

【検索履歴入力】

検索履歴を入力してください。検索履歴は、過去の申込み履歴を確認するために必要です。

※下書き用紙に表示している内容は2024年1月現在のものであり、変更

2024年度
スカラネット入力下書き用紙
【給付奨学金（貸与同時申込み）用】

給付奨学金と貸与奨学金の両方、又は給付奨学金のみを申し込
す。この下書き用紙には給付奨学金及び貸与奨学金それぞれに
よって回答が必要な欄があります。給付奨学金のみを申込み
い。給付奨学金と貸与奨学金の両方を申し込み人は、黄色い背景と灰色

スカラネットURL <https://www.sas.jas.ac.jp/>
受付時間 8:00~25:00（最終締切日 8:00~24:00）
※受付時間を過ぎると画面が強制終了するため、余裕をもって入力
入力所要時間の目安は30分~1時間です。

氏名	学籍番号	学部・学科・分野
奨学 花子	1234567	法学部

必ず記入！
 ・氏名
 ・学籍番号
 ・学部名

【スカラネット入力の際に、手元に用意する書類】
 ・学校から受け取った識別番号（ユーザIDとパスワード）
 ・マイナンバー提出書
 ・奨学金申込書（本人名義）の通帳などのコピー（本冊子16ページに貼り付けてください。）

【スカラネット入力内容記入欄】

識別番号入力
あなたの識別番号（学校から受け取ったユーザIDとパスワード）を入力してください。
 （注）パスワード入力の際は全角・半角、大文字・小文字の区別をします。

ユーザID: [] パスワード: []

奨学金学種（学校）・申込の選択

大学の学種を選択してください。

① 定期採用（1次又は2次）給付奨学金・貸与奨学金
 ● 現在在学している大学での奨学金を申込みの目的が当てはまります。

② 教員給与受取（給付奨学金のみ）
 ○ 在学期間中に特定の事由が生じたことで継続受給し、受給後の収入状況が在学時情報に
 反映される前に変更を要する場合のみ申し込みのことができます。
 学校で申請書類を提出してください。

高等専門学校の場合の表示例

① 定期採用（1次又は2次）給付奨学金・貸与奨学金
 ● 現在在学している大学での奨学金を申込みの目的が当てはまります。

② 教員給与受取（給付奨学金のみ）
 ○ 在学期間中に特定の事由が生じたことで継続受給し、受給後の収入状況が在学時情報に
 反映される前に変更を要する場合のみ申し込みのことができます。
 学校で申請書類を提出してください。

大学（通信課程）の場合の表示例

① 定期採用（1次又は2次）給付奨学金・貸与奨学金
 ● 現在在学している大学での奨学金を申込みの目的が当てはまります。

② 教員給与受取（給付奨学金のみ）
 ○ 在学期間中に特定の事由が生じたことで継続受給し、受給後の収入状況が在学時情報に
 反映される前に変更を要する場合のみ申し込みのことができます。
 学校で申請書類を提出してください。

定期採用に☑

給付奨学金制度

申込手順等

スカラネット入力下書き用紙

ログイン

申込IDとパスワードを入力して、下の「次へ」ボタンを押してください。

申込ID: [Z B 2 4]

パスワード: []

【マイナンバー提出書】を左手に準備していただく。
 「申込ID」の欄に印刷されている「Z0241」で始まる10桁の英数字を、スカラネット画面の「申込ID」に入力してください。
 「初期パスワード」の欄に印刷されている10桁の英数字を、スカラネット画面の「パスワード」に入力してください。

マイナンバー提出書

申込ID: [] 初期パスワード: []

氏名 (姓) [] (名) []

生年月日 (西暦) [] 年 [] 月 [] 日

住所 []

電話番号 (国) [] (区) [] (町) [] (番) [] (号) []

マイナンバー (個人番号) []

「マイナンバー提出書」に印字されている「申込ID」と「パスワード」を記入してください

アカウント情報入力

STEP1 確認書送信の提出

定期採用の場合

① 定期採用（1次又は2次）給付奨学金・貸与奨学金
 ● 現在在学している大学での奨学金を申込みの目的が当てはまります。

② 教員給与受取（給付奨学金のみ）
 ○ 在学期間中に特定の事由が生じたことで継続受給し、受給後の収入状況が在学時情報に
 反映される前に変更を要する場合のみ申し込みのことができます。
 学校で申請書類を提出してください。

【次へ】にチェックを入れないと、次の画面へ進むことができません。

【次へ】にチェックを入れると【次へ】ボタンを押すことができます。

給付の案内

経済的理由により修学に困難があるもののうち、文部科学省令で定める基準及
 了者であって経済的理由により極めて修学に困難があるものと認定された者
 無利子の奨学金で、特に優れた学生及び生徒で経済的理由により著しく修学に困難な者に貸与します。
 ・第一種奨学金
 利子付の奨学金（在学中に無利子）で、第一種奨学金よりゆるやかな基準によって選考された者に貸与します。

①-あなたの氏名・誓約情報

日本学生支援機構理事長 殿
私に奨学金の申込みにあたり、学校に提出した「奨学金の誓約書」を、奨学生に採用決定後、速やかに貸与奨学金は「返済義務あり」を前提に返還の義務が生じた場合に返還すること及び以下の＜記入することを誓約します＞。

給付奨学金出願者は
両方とも
「希望します」を選択

今回初めて、もしくは、追加で貸与奨学金を申し込む人
→「希望します」を選択！

「すでに貸与奨学金を借りていて、給付のみ申し込む」、
もしくは「今回給付奨学金だけを申し込む」という人
→「希望しません」を選ぶ

要注意

(8)~(14)選んだ人は
824-04-999999と記入しておいてください。

STEP3
②-奨学金申込情報

大学、短期大学、高等専門学校、専修学校専門課程の場合
1. 給付奨学金の新規申込みを希望しますか。
2. 貸与奨学金（内額：第一種奨学金（無利子）、第二種奨学金（有利子））の新規申込みを希望しますか。
3. お持ちの希望する貸与奨学金から1つ選択してください。

(1)~(14)の中から
1つだけ選択する
※(4)は選択NG

【2】貸与奨学金（内額：第一種奨学金（無利子）、第二種奨学金（有利子））の新規申込みを希望しますか。
【6】～【14】を選択する人へ
【8】～【14】を選択する人は、在留資格の取得書類を学校へ提出する必要があります。

2024年4月と記入する

【2017年度以前入学者(2018年3月以前の入学年月を入力した人の貸与月額)】

大学				短期大学・専修学校(専門課程)				高等専門学校(4・5年生、専修)			
国・公立		私立		国・公立		私立		国・公立		私立	
自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外
4万5千円	5万1千円	5万4千円	6万4千円	4万5千円	5万1千円	5万3千円	6万円	4万5千円	5万1千円	5万3千円	
3万円				3万円				3万円			

- ② あなたの希望する返還方式を選択してください。
- (注) 所得連動返還方式を希望する場合は、借財制度は「標準借財」になります。
- (注) 〇所得連動返還方式 〇種類別返還方式
- ③ 第一種奨学金の再貸与を希望しますか。
- (注) 〇はい 〇いいえ
- 第一種奨学金の再貸与を希望する人は、再貸与の制度を確認し、同意する場合のみ、申込を行ってください。
- 奨学生番号(半角数字)
- 第一種奨学金の再貸与を希望する人は、再貸与の制度を確認し、同意する場合のみ、申込を行ってください。
- (注) 制度変更確認するまで、次の画面に進むことはできません。 同意します。

2. 第二種奨学金を希望する人は次のことに答えてください。
- (1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。
- 2万円 3万円 4万円 5万円 6万円 7万円
8万円 9万円 10万円 11万円 12万円
- (2) あなたは私立大学の医学・歯学・薬学・獣医学課程に在学していますか。
- (注) はい 〇はい 〇いいえ
- 【はい】と答えた人でかつ12万円の月額を選択した人のみ月額増額を希望することができます。
- あなたは(注)を「否」(毎月4万円、薬・獣医は2万円増)を希望しますか。
- 〇4万円 〇2万円 〇希望しない

※貸与月額について確認してください。

あなたは、借財貸与を希望しています。借財貸与を受けると貸与期間及び毎月の返還額が増額となります。この申込手続終了後、貸与月額が適切であるか再度確認してください。

なお、第二種奨学金の標準月額を選択した場合は、「奨学金事情」欄に第二種奨学金の標準月額を必須とする「貸与」を記入いただくこととなります。

この記入いただいた「貸与」については、学校担当者から連絡等を行う場合があります。

- ④ あなたの5月1日現在の貸与期間を記入してください。
- (注) 奨学生採用貸与貸与期間の変更はできません。
- (注) 西暦(半角数字4桁) 年 月

3. 入学特別増額貸与奨学金を希望する人のみ答えてください。
- (1) あなたは入学特別増額貸与奨学金を希望しますか。
- 1年次に入学した人および編入学生の人のみ選択することができます。
- (注) 〇はい 〇いいえ

4. 第二種奨学金または入学特別増額貸与奨学金を希望する人は答えてください。
- (1) あなたの希望する利率の算定方法を選択してください。
- (注) 〇利率固定方式 〇利率見直し方式

入学時特別増額貸与奨学金は「いいえ」にチェックして下さい

給付奨学金制度
申込手順等
スカラネット入力下書き用紙
採用後の手続き

「いいえ」を選択

第二種申込み

第一種申込み

① 第一種奨学金給付情報

1. 給付奨学金を希望する人は次のことに答えてください。
- (1) 給付奨学金が採用となった場合、4月締込からの支給の停止を希望しますか。
- 〇はい 〇いいえ

- 【はい】と答えた人は、停止理由を記載してください。
- 〇 2024年4月1日時点で休学中であるため(2024年4月2日以後に休学中が始まる場合は該当しません。申込書、別途手続が必要です)。
- 〇 休学期間の奨学金利用に伴い、継続の給付奨学金との供給が認められないため
- 〇 その他

- (2) あなたは、2024年4月以降、以下の支給を受ける予定がありますか。(1)のワークシート所からあなたが受けている給付金があれば、次に該当するものがないか、必ず確認してください。

- ※2024年4月以降、以下の給費による支給を受けている期間は、日本学生支援機構の給付奨学金の額が0円となります。
- ・新着奨励金給付金【雇用保険給付】
 - ・勤労給付金給付、技能習得手当【雇用保険給付】
 - ・職業訓練給付金【職業訓練の受講等による特定求職者の就職の支援に関する法律】
 - ・職業訓練給付金給付金【ひとり親世帯の親を対象とする給付金】【母子及び父子並びに寡婦手当】
 - ・職業訓練給付金【訓練手当】【労働者の都合のある拒絶並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等に關する法律】

- 〇 支給を受けておらず受け予定もない

- 〇 支給を受けている
- 支給予定期間(西暦) (半角数字4桁) 年 月 日 ~ 年 月 日

- 〇 支給を受ける予定である
- 支給予定期間(西暦) (半角数字4桁) 年 月 日 ~ 年 月 日

※申告された場合、給付奨学金の全額返還を求められることがあります。

② 第一種奨学金貸与情報

1. 第一種奨学金を希望する人は次のことに答えてください。
- (1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。
- (注)

【2018年度以降入学者(2018年4月以降の入学年月を入力した人の貸与月額)】

月額の種類	大学				短期大学・専修学校(専門課程)				高等専門学校(4・5年生、専修)			
	国・公立		私立		国・公立		私立		国・公立		私立	
	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外
標準月額	4万5千円	5万1千円	5万4千円	6万4千円	4万5千円	5万1千円	5万3千円	6万円	4万5千円	5万1千円	5万3千円	
標準月額以外の月額	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	
	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	

- ⇒ 標準月額を選択した人は、以下の欄に答えてください。
- 貸与月額〇〇円は一定の条件を満たした場合のみ貸与を受けられる月額です。条件を満たさなかった場合に希望する月額を選択してください。
- 標準月額

どちらの「保証制度」を選択するか、配布した「貸与奨学金案内(ピンクの冊子)」P22を読み、保護者の方と相談して決めてください。

給付奨学金のみを希望する人は、この「保証制度」の入力が必要ありません。

STEP4
①-保証制度
1. あなたの希望する保証制度を選択してください。
 無保証制度
 無保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です(一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます)。制度の内容について告知し、無保証制度を選択します。
 人的保証
 人的保証制度は、選任する連帯保証人や保証人に事前に了解をとっておく必要があります。制度の内容について告知し、人的保証を選択します。

2. 第一種奨学金についてお母様が希望する保証制度を選択してください。
 所得変動必要を希望する場合は「無保証」のみになります。人的保証は選択できません。
 無保証制度
 無保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です(一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます)。制度の内容について告知し、無保証制度を選択します。
 人的保証
 人的保証制度は、選任する連帯保証人や保証人に事前に了解をとっておく必要があります。制度の内容について告知し、人的保証を選択します。

②-貸与奨学金返還誓約書情報・給付奨学金本人等情報
1. あなた自身について入力してください。
 (1) あなたの性別を△△、○○を選んでください。 (2) ○男 ○女 ○回答したくない
 (3) あなたの性別を選択してください。(任意) (3) 成年判定
 (3) あなたの生年月日××××年△△月○○日です。

※申込者本人のマイナンバー(※申込時に提出できない場合は、住所票住所を入力してください)を入力してください。
 住所1 (自動入力) [郵便番号 (半角数字)] [住所検索]
 住所2 (番地以降)(半角文字)

(3) あなたの電話番号を入力してください。
 ※白き電話番号がなければ携帯番号の電話番号で構いません。(ハイフンなし/半角数字)
 ※白き電話番号がなければ携帯番号の電話番号で構いません。(ハイフンなし/半角数字)
 携帯番号の電話番号を入力してください。(ハイフンなし/半角数字)

あなたが今住んでいる住所を記入

おと次の画面に進めません。
 ※居住し続けている住所は、住所2欄に全角で「(ピリオド)」を入力してください。
 ※住所2欄には、住所1欄の表示部分を入力しないでください。
 ※左記の場合、住所1欄で「1丁目」を選択し、住所2欄に続けて「1丁目 99-9-9...」と入力した場合、住所2欄は「1丁目1丁目 99-9-9...」となります。
 ※住所、電話番号に海外の住所等を入力することはできません。連絡のとれる国内の住所等を入力してください。

住所の入力例
 (郵便番号) 162-9999 (住所検索) 一押下
 注意!
 表示された住所一欄の中から、正しい住所を選択してください。

住所1(自動入力) ○東京都 新宿区 市谷本町 1丁目
 ○東京都 新宿区 市谷本町 2丁目
 ○東京都 新宿区 市谷本町 3丁目

住所2(番地以降) 99-9 機構ハイツ 505

最終学歴、卒業年月、日本学生支援機構の奨学金を受けたことがあるかなど記入して下さい。

※すでに奨学金を受けている人は「奨学生証」等であなたの奨学生番号を確認して下さい書きに記入して下さい。

STEP4
①-あなたの履修情報
1. あなたの履修学歴を記入してください。
 1. 西暦(半角数字4桁) []年 []月 []日 []卒業または退学
 2. あなたは国内の専門学校(学科)を卒業しましたか。
 専攻科 [] (専門学校)には、国内の中等教育学校の後継課程、特別奨励学校の専攻科、専攻科 [] (第1学年から第3学年まで)又は専門学校の特修課程(修業年限が3年以上のもの)を含みます(インターナショナルスクールや在外教育施設等は含みません)。
 ※現在、専攻科専門学校の第1学年から第3学年まで在学中の場合は入力不要です。
 はい いいえ その他
 [はい]と答えたら人に聞きます。
 あなたが履修している学校への入学前の履修歴は次のうちどちらになりますか。
 専攻科卒業履修歴認定試験合格者
 その他(インターナショナルスクール、在外教育施設等)
 ※専攻科卒業履修歴認定試験合格者として入力に同意します。
 あなたは専攻科卒業履修歴認定試験に合格しましたか。
 はい いいえ
 あなたは、専攻科卒業履修歴認定試験の受験資格を取得した年度(16歳になる年度)から専攻科卒業履修歴認定試験合格者となった年度(18歳)までを超過していませんが、5年を経過した後も毎年専攻科卒業履修歴認定試験を受験していません。
 はい いいえ
 [その他]と答えたら人に聞きます。
 あなたが卒業又は修了した「その他」の学校名(正式名称)とその学校を卒業又は修了した年月を記入してください。
 西暦(半角数字4桁) []年 []月 []日
 3. [給付] あなたはこれまで、日本学生支援機構の「給付奨学金」(奨励、返還不要)を受けていますか。(現在支給が終了しているものを含む)。
 はい いいえ
 [貸与] あなたはこれまで、「給付奨学金申込書」で入力した日本学生支援機構の「給付奨学金(第一種-第二種)」「奨励(返還不要)」を受けていますか(現在支給が終了しているものを含む)。
 はい いいえ
 ※上のいずれかの段階で「はい」を選択した人はその奨学生番号を記入してください。
 ※第一種奨学金を利用して入った人が給付奨学金を受けると、貸与奨学金と給付奨学金が重複する場合があります。「追加」ボタンを押してすべての奨学生番号を記入してください。
 ※奨学生番号の記入を取り消す場合は、「削除」ボタンを押してください。

奨学生番号	1	2	3	4	5
半角数字	別	別	別	別	別
奨学生番号	1	613	DA	99999999	0000
奨学生番号	2	621	DB	99999999	0000
奨学生番号	3	611	DI	99999999	0000
奨学生番号	4	616	DD	99999999	0000
奨学生番号	5				

※第二種奨学金の貸与について確認してください。
 あなたは、これまでに同一の学校区分で2回以上、第二種奨学金の貸与を受けている日本学生支援機構の規定により、これ以上第二種奨学金を申し込みのことができません。認められる年齢の上限は定められています。

②-貸与奨学金申込情報に入力した番号は入力しないでください。
 採用取消となった奨学生番号は入力しないでください。
 高校在学中に、都道府県等(日本学生支援機構及び日本育英会以外)から奨励の場合、入力は必要ありません(高等学校及び専修学校高等課程の奨学金は日本学生支援機構から各都道府県に移管されました)。

[5年を経過した後も毎年専攻科卒業履修歴認定試験を受験していた]とは、下記のような場合が該当します。
 (例) -16歳になる年度、2014年度
 -16歳になる年度から5年経過後2019年4月1日以降
 -2019年度、2020年度に専攻科卒業履修歴認定試験(合格)
 -2021年度に専攻科卒業履修歴認定試験(合格)
 ※2019年度又は2020年度に合格していない場合、[5年を経過した後も毎年専攻科卒業履修歴認定試験を受験して]に該当しないため、申込はできません。

給付奨学金制度

申込手順等

スカラネット入力下書き用紙

採用後の手続き

①一保原制度で「**機関保証**」を
選んだ方は**父**または**母**
いずれかの
連絡先を記入してください

②一保原制度で「機関保証」を選択した場合は、あなた以外の連絡先について、あなたは保証制度から除外されます。
あなた以外の連絡先について、あなたは保証制度から除外されます。
あなた以外の連絡先について、あなたは保証制度から除外されます。

(1) その氏名
(2) その生年月日
(3) あなたの職种
(4) その住所
住所1 (自動入力)
住所2 (居住地) (全角文字)
その連絡先の電話番号 (ハイフンなし/半角数字)

②一保原制度で「機関保証」を選択した場合は、あなた以外の連絡先について、あなたは保証制度から除外されます。
あなた以外の連絡先について、あなたは保証制度から除外されます。
あなた以外の連絡先について、あなたは保証制度から除外されます。

※ページ④の「住所の入力例」参照
固定電話と携帯電話を両方入力している場合は、どちらを入力してください。

①一保原制度で「**人的保証**」を選択した人
あなたは保証制度で「人的保証」を選択しています。連帯保証人及び保証人について入力してください。

【人的保証】
連帯保証人情報
記入欄

(1) 連帯保証人について入力してください。
-原則として、父母・兄弟姉妹・未成年者等保証能力がない人は認められません。
-債務整理（破産等）中心の人を連帯保証人に選任することは認められません。

(2) その生年月日
(3) あなたの職种
(4) その住所
住所1 (自動入力)
住所2 (居住地) (全角文字)
その連絡先の電話番号 (ハイフンなし/半角数字)

※ページ④の「住所の入力例」参照
固定電話と携帯電話を両方入力している場合は、どちらを入力してください。

②一保原制度で「人的保証」を選択した場合は、連帯保証人・保証人の居住条件は必ず「貸与貸付住宅案内」を参照してください。

※ページ④の「住所の入力例」参照
固定電話と携帯電話を両方入力している場合は、どちらを入力してください。

! **連帯保証人**
【原則】父もしくは母
なお、連帯保証人・保証人の住所は
「印鑑登録証明書」に
記載されている住所を記入する。

①一保原制度で「**人的保証**」を選択した人 (続き)

【人的保証】
保証人情報
記入欄

(2) 保証人について入力してください。
-原則として、4親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別姓の65歳未満の人を選んできて下さい。
-未成年者等保証能力がない人は認められません。
-債務整理（破産等）中心の人を連帯保証人に選任することは認められません。

(a) その氏名
(b) その生年月日
(c) あなたの職种
(d) その住所
住所1 (自動入力)
住所2 (居住地) (全角文字)
その連絡先の電話番号 (ハイフンなし/半角数字)

(e) その電話番号
※白電話番号がなければ携帯電話の
その携帯電話の電話番号 (ハイフンなし/半角数字)
その連絡先
連絡先電話番号 (ハイフンなし/半角数字)
※保証人が複数の場合は、下記にチェックしてください。

(f) 連帯保証人と保証人は別姓です。
連帯保証人、保証人に相いれない人物かどうかは、各人々の身分証明（戸籍謄本等）を参照してください。

※ページ④の「住所の入力例」参照
固定電話と携帯電話を両方入力している場合は、どちらを入力してください。

! **保証人は、**
4親等以内65歳未満の
成人親族（おじ・おば等）

①一保原制度で「**人的保証**」を選択した人
あなたは保証制度で「人的保証」を選択しています。連帯保証人及び保証人について入力してください。

2. 連帯保証人について入力してください。
あなたは保証制度で「人的保証」を選択しています。連帯保証人及び保証人について入力してください。

(1) 連帯保証人について入力してください。
-原則として、父母・~~兄弟姉妹~~にしてください。
-未成年者等保証能力がない人は認められません。
-債務整理（破産等）中心の人を連帯保証人に選任することは認められません。

(a) その氏名
(a) 漢字 (全角5文字以内)
カナ (全角15文字以内)

この部分を二重線で消してください

給付費手金制度
申込み手順等
インターネット

①・②については 貸与の下書きページで 解説した内容と同じです。

(1) 生計維持者②は2022年1月2日以後に就職しましたか。 ←
 はい いいえ
 はい を選択した場合
 収入情報)にて書きを行
 新卒の提出により、再書
 第一希望の異業種
 再書きを希望する
 ことがあります。本
 書の内容を印刷
 上記の内容を印刷
 提出する書きを希望します。
 最近の給与明細等を郵送で提出する書きを希望しません。
 ※なお、給与明細については、最近の給与明細等での書きは行いません。

(2) 2022年1月～2022年12月
 では、専業主婦による固定給等
 から選択してください。
 専業主婦の提出が必要になる
 はずですので、選択が大欄に選
 出する書きを希望します。

A

(3) あなたの生計維持者が放棄している状態(あなたを含む)の人数を入力してください。
 ※以下の両方の条件を
 1. あなたの生計維
 2. 1.の生計維持
 (1) 2022年12月31日
 (2) の人数を入力
 (1) 2023年12月31日
 (2) の人数を入力してください。

B

4. あなたと生計維持者(個別父母)の資産の合計額は2,000万円未満(生計維持者が1人の場
 合は1,250万円未満)ですか。
 はい いいえ
 ※対象となる資産の種類：預金及びこれに準ずるもの、預貯金並びに有価証券の合計額(不
 動産は対象外)。

5. あなたと生計維持者(個別父母)の資産の額をそれぞれ入力してください。(1万円未満切り捨て)
 (半角数字)
 あなた 万円
 生計維持者① 万円
 生計維持者② 万円
 合計 万円

◆一人親世帯
 6. 父又は母のいづれかのみを「生計維持者」としている理由について、次のうち該当するもの
 を選択してください。
 父又は母と別居した。
 配偶(離婚)により、父又は母が亡くなった。(本人)は別居生計である。
 配偶(離婚)には、離婚調停中、DVによる危害中、又は未結の離婚争ひを含みます。
 父又は母が、生死不明、意識不明、精神状態等のため、意思疎通ができない。
 その他

◆父母以外
 7. 生計維持者に父母以外の人を入力した理由について、次のうち該当するものを選択してくだ
 さい。(複数選択可)
 両親(父母)と別居した。
 両親(父母)が生死不明、意識不明、精神状態等のため、意思疎通ができない。
 おたし(本人)は結婚しており、両親ではなく、生計維持者等に記載した高収入者に扶養さ
 れている。(婚姻手続きにおいて、おたしの夫(妻)の扶養に入っている。)
 その他

生計維持者①②は 父か母の情報を 記入する。

2. 生計維持者(個別父母、父母がいない場合に代わって生計を維持する人)について記入して
 ください。
 1で「はい」と回答した人については、生計維持者について一部自動表示されます。

※父母がいる場合は、収入の有無にかかわらず必ず父母ともに生計維持者として入力が必要で
 す(離婚等により完全に別居生計の人を除く)。

(1) あなたの生計維持者の人数を選択してください。 (1) 人

(2) 生計維持者①(父母のいづれか、父母がいない場合に代わって生計を維持する人)

(a) あなたの続柄 (a)

(b) 生計維持者①の氏名 (b) 姓 名
 (b) 漢字(全角5文字以内)
 カナ(全角15文字以内)

(c) 生計維持者①の住所 (c) 郵便番号(半角数字) 住所種別
 住所 1(自動入力)
 住所 2(郵便以降)(全角文字)

(d) 生計維持者①の生年月日 (d) 年 月 日生

(e) 生計維持者①のマイナンバーを欄頭に提出する準備はできていますか。
 (注1) 「その他」を選択した人は、提出できない事情を選択してください。
 (注2) 家族書画のため、マイナンバーの提出が必要です。
 提出できない場合は、別途毎年所得届申告書の取付書類の提出が必要となります。
 準備できています
 これから準備する
 その他

※印刷している場合でも、選択していない場合は、「いいえ」を選択してください。
 はい いいえ
 はい を選択した場合
 収入情報)にて書きを行
 新卒の提出により、再書
 第一希望の異業種
 再書きを希望する
 ことがあります。本
 書の内容を印刷
 上記の内容を印刷
 提出する書きを希望します。
 最近の給与明細等を郵送で提出する書きを希望しません。
 ※なお、給与明細については、最近の給与明細等での書きは行いません。

A

(3) 生計維持者②(父、母など) ←

(a) あなたの続柄 (a)

(b) 生計維持者②の氏名 (b) 姓 名
 (b) 漢字(全角5文字以内)
 カナ(全角15文字以内)

(c) 生計維持者②の住所 (c) 郵便番号(半角数字) 住所種別
 住所 1(自動入力)
 住所 2(郵便以降)(全角文字)

(d) 生計維持者②の生年月日 (d) 年 月 日生

(e) 生計維持者②のマイナンバーを欄頭に提出する準備はできていますか。
 (注1) 「その他」を選択した人は、提出できない事情を選択してください。
 (注2) 家族書画のため、マイナンバーの提出が必要です。
 提出できない場合は、別途毎年所得届申告書の取付書類の提出が必要となります。
 準備できています
 これから準備する
 その他

ここで入力した人物についてマイナ
 ーを提出する必要があります。

※最後に父母が再婚(事実婚含む)している
 場合は、再婚相手も生計維持者として入力
 する必要があります。
 その際は、親子連れの有無にかかわらず、再婚
 相手の氏名も父又は母を選択してください。

「印刷用学卒案内」29ページを参照しながら、
 生計維持者①の氏名を正確に入力してください。

二次採用(既)で申し込の場合は、2022年を
 2023年に替り替えてください。

二次採用(既)で申し込の場合は、2022年を
 2023年に替り替えてください。

父母のうち(3)生計維持者③に入力した人
 とは異なる人、必ず入力してください。空欄
 採用の申請は、すでに入力した人物について
 マイナンバーを提出する必要があります。
 ※一人親の場合は、(3)の入力は不要です。
 ※父母がいなくても代わって生計を維持
 している人(2)を入力してください。

※最後に父母が再婚(事実婚含む)している
 場合は、再婚相手も生計維持者として入力
 する必要があります。
 その際は、親子連れの有無にかかわらず、再婚
 相手の氏名も父又は母を選択してください。

「印刷用学卒案内」29ページを参照しながら、
 生計維持者②の氏名を正確に入力してください。

学卒前
 学卒後
 申込手順等
 申込手順等
 スカラネット入力下書き用紙
 スカラネット入力下書き用紙
 採用後の手続き
 採用後の手続き

◆<共通>一人親家庭・父母以外
 必要に応じて、上記の事情関係が確認できる証明書の提出を後日求める場合があります。
 上記の申告に間違いありませんか。

理由	必要書類(※)
父又は母のいずれかのみを「生計維持者」としている場合【共通】	・資料証明書(離婚(再)控除の適用が分かるもの) ・家族扶養手当申請書、受給証明書
上記の書類を提出できない場合	
父母と別居	・戸籍謄本、抄本
父母の婚姻	・戸籍謄本、抄本
父母の離婚調停中	・裁判所による調停証明書 ・弁護士による報告書
父又は母がDV被害	・自治体等による「被害者からの暴力の被害者の保護に関する証明書」
父又は母が生死不明(行方不明)	・自治体や警察等による「行方不明者届出証明書」
父又は母が離婚不協、精神疾患	・自治体による「診断書」
学生本人が両親ではなく配偶者に扶養されている	・戸籍謄本、抄本 及び 資料証明書(配偶者控除の適用が分かるもの)
その他の事由	・事情関係が確認できる書類(第三者(機関)の意見書)

◆申込者本人
 8. 生計維持者はおなな自身(独立生計者)と入力した際について、次のうち該当するものを選択してください。

- 両親(父母)と別居し、祖父母や前父・前母等の親族から経済的支援を受けていない。
- 父母・祖父母ともに死別し、兄弟姉妹(弟学妹)もしくは養育などの理由で働くことができない。
- おとし(本人)は結婚しており、配偶者等を扶養している。
- その他

STEPB
 ◎一家事情情報
 奨学金を希望するに至った家事情報や、特に説明を要することを記入してください
 (全角200文字以内、下の記入欄内で利用ください)。
 注) 第二種奨学金の募集内縁が必要とする理由を具体的に記入してください(学校担当者から電話連絡を行う場合があります)。

**奨学金が必要な理由を具体的に書く。
 ※160字以上**

※一人親家庭の家事情報のもとで、父又は母のいずれかのみを生計維持者としている場合、または父母以外の人を生計維持者としている場合にのみ適用されます。
 生計維持者の考え方については、「給付奨学金案内」24～25ページ及びJASSOホームページに掲載している「生計維持者について」「生計維持者に係るQ&A」を併せてご確認ください。
 JASSO 生計維持者について

※一人親家庭の家事情報のもとで、あなた自身が生計維持者(独立生計者)としている場合にのみ適用されます。
 あなた自身が生計維持者にした理由として、父母と別居であることは認められません。また、あなたの収入及び奨学金等だけで生活しているという状況であっても、父母がいる場合は、別居父母が生計維持者となります。

家事情報情報は、全員入力する必要があります。

併せて貸付金(おとし、第二種奨学金)の募集内縁を希望した場合は、募集内縁が必要とする理由も入力してください。

注意！口座情報に誤りがあると、奨学金の初回振込が滞りかねる場合があります。

振込先指定口座は【本人名義】のみ！
※本人名義以外の口座は振込できません。

STEP9
 ①-奨学金振込口座情報
 1. 公費受取口座の利用を希望しますか。
 2. 奨学金を振り込む金融機関を選択してください。

【銀行等を選択した場合】
 ゆうちょ銀行以外(大手都市銀行など)

【ゆうちょ銀行を選択した場合】
 ゆうちょ銀行

振込できない金融機関 ※貯蓄口座・休眠口座も不可

信託銀行	農協
外資系銀行	ネットバンク
コンビニ銀行	SBI新生銀行
あおぞら銀行	一部の信用組合

「選定の口座名義人・口座情報等が記載されているページのコピーをここに貼り付け」

給付奨学金制度
 給付奨学金制度
 申込手順等
 申込手順等
 スカラネット入力下書き用紙
 スカラネット入力下書き用紙
 採用後の手続き
 採用後の手続き

番号確認書類・身元確認書類の用意

氏名・生年月日・発行日・発行者・発行印が確認できるものをご用意ください。

1. 申込者本人

番号確認書類^{注意①}と身元確認書類^{注意①}の2種類の提出が必要です。

マイナンバーカードを持っている場合は、マイナンバーカード1枚で手続き可能です。

番号確認書類	マイナンバーカードのうら面(個人番号が記載されている面)のコピー
身元確認書類	マイナンバーカードのおもて面(顔写真のある面)のコピー

マイナンバーカードを持っていない場合は、次の書類で手続き可能です。

番号確認書類	次のいずれか1点 ・「個人番号記載の住民票の写し」 ^{注意②} のコピーまたは原本 ・「個人番号記載の住民票記載事項証明書」 ^{注意②} のコピーまたは原本 ・「通知カード」のコピー ^{注意③}
身元確認書類	次の⑦または⑧のコピー ⑦ 次のいずれか1点 パスポート、運転免許証、在留カード、特別永住者証明書、障害者手帳、療育手帳、 小型船舶操縦免許証、写真付きの学生証 ^{注意④} ⑧ 次のいずれか2点 (1点のみ提出された場合は、書類不備となります。) 健康保険証 ^{注意⑤} (記号・番号を塗りつぶして提出)、 学生証(写真なし) ^{注意④} 、在学証明書 ^{注意④} 、 年金手帳、戸籍謄本または戸籍抄本、 住民票の写しまたは住民票記載事項証明書 ^{注意②⑥}

2. 生計維持者

スカラネットで入力した人と同じ人 (原則父母2名)

番号確認書類^{注意①}の提出が必要です。

番号確認書類	次のいずれか1点 ・「マイナンバーカード」のうら面(個人番号が記載されている面)のコピー ^{注意①} ・「個人番号記載の住民票の写し」 ^{注意②} のコピーまたは原本 ・「個人番号記載の住民票記載事項証明書」 ^{注意②} のコピーまたは原本 ・「通知カード」のコピー ^{注意③}
--------	---

⚠ 生計維持者のマイナンバーについては、申込者本人が生計維持者から番号確認書類を受け取り、提出書に記入した番号と一致していることを確認のうえ、番号確認書類を貼付し提出してください。



生計維持者の方が、専業主婦等の無職であっても日本学生支援機構へのマイナンバー確認書類の提出は必要です！！

(注意) 未提出の場合、機構で審査が進みません

**まずは出願書類を
不備なく遅延なく提出！**

全員

申込書類 提出日

**4月10日(水) 10:30~14:00、
11号館1階大会議室 対象学部：経済、栄養**

**しめ切り
は
守る!**

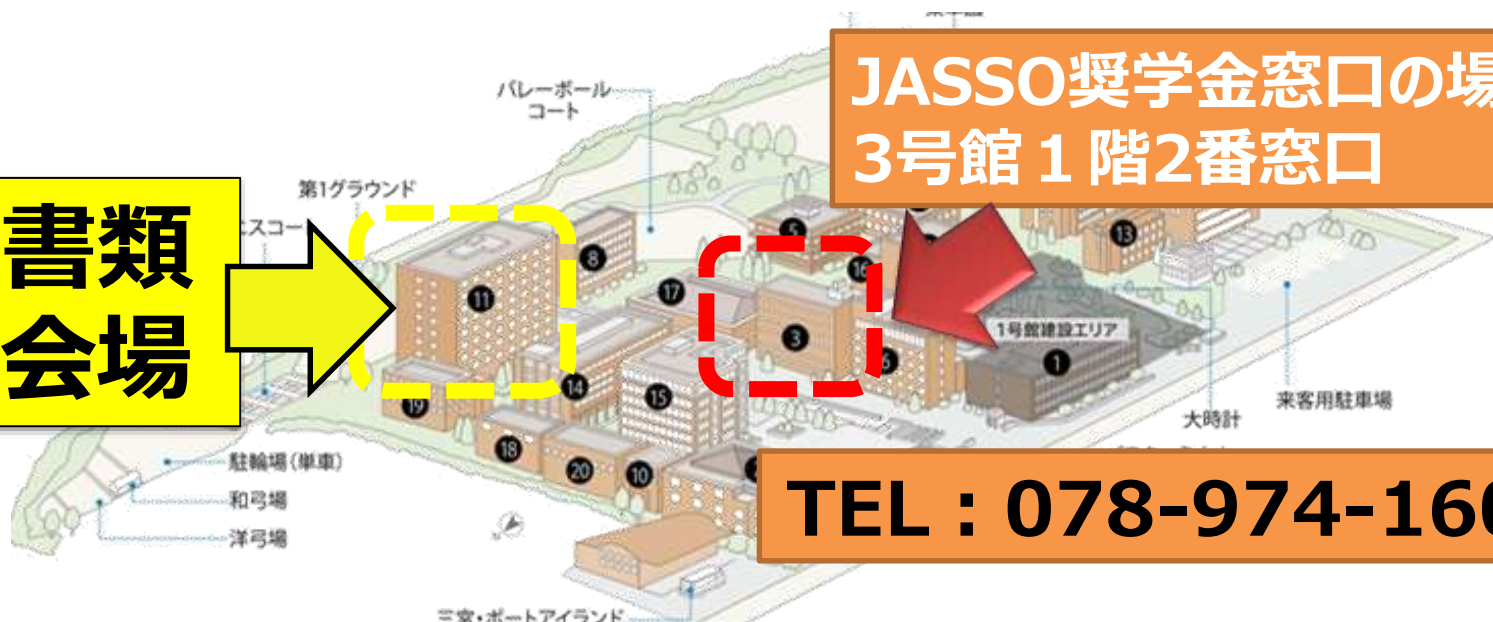


必ずチェックリストを記
入して申込必要書類と
一緒に出して下さい！

**4月11日(木) 10:30~14:00、
11号館1階大会議室 対象学部：総リ八、人文、心理**

**申込書類
提出会場**

**JASSO奨学金窓口の場所
3号館 1階2番窓口**



TEL : 078-974-1607